令和7年度第2期草津市スポーツ推進計画　実施事業一覧

別紙4

基本方針	目標	施策	具体的な取組	事業名	担当課	実施主体	関係団体等	R7評価
1 こどもの体力向上とスポーツ活動の推進	○新体力テストの成績 ○運動(やスポーツ)をすることが好きなこどもの割合	(1)乳幼児・児童の運動(遊び)の推進	①遊びを通した運動・スポーツの充実	こどもの運動・遊び推進事業	幼児課 子育て相談センター	草津市	認定こども園、幼稚園、保育所、 子育て相談センター	3
			②親子で楽しむ運動・機会の充実	親子で参加できる各種スポーツ教室	スポーツ推進課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、 スポーツ推進委員協議会	3
			③地域ぐるみで取り組むこどもの運動・スポーツ機会の充実	地域協働合校	生涯学習課	各推進組織	地域住民、市民サークル、老人会、 企業・大学関係者　など	3
			④プロスポーツ選手等と連携したこどものスポーツ機会の充実	くさつMIO夢先生事業	スポーツ推進課	草津市	レイラック滋賀FC、小・中学校	3
		(2)学校体育の充実	①授業内容の充実と体育指導の向上	小・中学校体育連盟活動推進事業	学校教育課	草津市	小学校体育連盟、中学校体育連盟	3
				小・中学校体力向上プロジェクト事業	学校教育課	草津市	小学校体育連盟、中学校体育連盟、立命館大学	3
			②大学と連携した学校体育の充実	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU	学校教育課	草津市	小学校体育連盟、立命館大学	3
			③学校・大学・児童育成クラブとの連携による体力向上	草津市チャレンジタイム	学校教育課	草津市		3
		(3)部活動の充実	①スポーツ関係団体や大学等と連携した部活動の支援	運動クラブ・部活動支援事業	学校教育課	草津市	スポーツ協会、立命館大学	3
		(4)スポーツ少年団活動の活性化	①スポーツ少年団の支援	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ推進課	草津市	スポーツ少年団(スポーツ協会)	3
		(5)スポーツ傷害の予防	①スポーツ傷害に関する学習の推進	スポーツ傷害予防講習会	学校教育課	草津市	中学校体育連盟	3
			②スポーツ傷害を防ぐ指導者の育成	スポーツ指導者講習会	スポーツ推進課	スポーツ協会	草津市スポーツ振興事業体	3
2 生涯スポーツ活動の推進	○20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率	(1)ライフステージにあわせた健康づくりの推進	①ライフステージに応じた事業の推進	健康推進アプリ「BIWA-TEKU(ビワテク)」	健康増進課	草津市		3
				ウオーキング推進事業	スポーツ推進課	スポーツ推進委員協議会 くさつ健・交クラブ	立命館大学、ボランティアガイド協会　他	3
				親子で参加できる各種スポーツ教室 (再掲)	スポーツ推進課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、 スポーツ推進委員協議会	3
			②気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進	学区対抗スポレク祭	スポーツ推進課	体育振興会連絡協議会	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、 スポーツ推進委員協議会	2
				草津川跡地公園での健幸イベント	健康福祉政策課	草津市	草津まちづくり会社、 草津川跡地公園マネジメント・パートナーズ	3
			③高齢者が気軽に参加できる事業の推進	老人クラブ活動支援	長寿いきがい課	草津市	老人クラブ連合会	4
				キラリエ草津☺健幸大学 →R6～健幸フレイル予防講座	長寿いきがい課	草津市		3
				いきいき百歳体操	長寿いきがい課	草津市		3
			④ウオーキングの推進	ウオーキング推進事業 (再掲)	スポーツ推進課	スポーツ推進委員協議会 くさつ健・交クラブ	立命館大学、ボランティアガイド協会　他	再掲
			⑤ランニングの普及	びわ湖レイクサイドマラソン	スポーツ推進課	大会実行委員会	滋賀県、滋賀県陸上協会	3
			⑥健康推進員による体操の普及啓発	くさつ健康はつらつ体操	健康増進課	健康推進員連絡協議会		3
		(2)「する」「みる」「支える」「知る」スポーツの参加促進	①スポーツ活動機会の充実	チャレンジスポーツデー	スポーツ推進課	草津市	スポーツ協会、体育振興会、くさつ健・交クラブ、 スポーツ推進委員、立命館大学	2
				親子で参加できる各種スポーツ教室 (再掲)	スポーツ推進課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、 スポーツ推進委員協議会	再掲
			②初心者向けスポーツ教室の開催促進	初心者向け等各種スポーツ教室事業	スポーツ推進課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	3
			③「する」「みる」「支える」「知る」様々なかたちでのイベント参画機会の提供	スポーツの多様な関わり方周知啓発事業	スポーツ推進課	草津市	草津市スポーツ振興事業体、スポーツ協会、 くさつ健・交クラブ	3
		(3)食育による健康づくりの推進	①こどもの食育の推進	離乳食レストラン	子育て相談センター	健康推進員連絡協議会		3
				食育の推進	学校給食センター	草津市		3
			②高齢者の食育の推進	キラリエ草津☺健幸大学 →R6～健幸フレイル予防講座	長寿いきがい課	草津市		3
		(4)体育振興会活動の充実	①学区単位のスポーツ活動の充実	地域スポーツイベントの開催	スポーツ推進課	各体育振興会	各スポーツ推進委員	3
			②地域スポーツクラブの支援	地域スポーツクラブ設立支援事業	スポーツ推進課	草津市	各体育振興会、各スポーツ推進委員	2
		(5)総合型地域スポーツクラブ活動の活性化	①総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブ事業補助金	スポーツ推進課	草津市	くさつ健・交クラブ	3
		(6)障害者スポーツの推進	①障害者が参加するスポーツイベントの支援・充実	障害者スポーツの推進	障害福祉課	心身障害児者連絡協議会		3
			②草津市立障害者福祉センター等との連携による障害者スポーツの推進	滋賀県障害者スポーツ大会	障害福祉課	滋賀県障害者スポーツ協会		3
			③施設のユニバーサルデザイン化等の推進	社会体育施設等整備改修事業	スポーツ推進課	草津市		3

令和7年度第2期草津市スポーツ推進計画　実施事業一覧

別紙4

基本方針	目標	施策	具体的な取組	事業名	担当課	実施主体	関係団体等	R7評価
3　競技スポーツの推進	○滋賀県民体育大会における草津市の総合得点 ○全国大会の出場件数	(1)スポーツ協会活動の活性化	①スポーツ協会の支援	スポーツ協会運営・事業補助金	スポーツ推進課	草津市	スポーツ協会	3
			②競技力の向上	国民体育大会に向けた選手の発掘・育成	スポーツ推進課	スポーツ協会	草津市スポーツ振興事業体	2
		(2)スポーツ少年団活動の活性化	①スポーツ少年団の支援	スポーツ少年団事業補助金 （再掲）	スポーツ推進課	草津市	スポーツ少年団（スポーツ協会）	再掲
		(3)各種大会出場者への支援	①激励金の交付	各種大会出場激励金	スポーツ推進課	草津市		4
				障害者アスリート各種大会出場激励金	障害福祉課	草津市		3
			②スポーツ顕彰の実施	草津市民スポーツ大賞	スポーツ推進課・障害福祉課	草津市		3
		(4)将来を担うアスリートの育成	①ジュニアアスリートの育成	各種ジュニアスポーツ教室	スポーツ推進課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会	3
			②専門性を生かしたアスリートの育成	大学・企業等と連携したアスリートの育成	スポーツ推進課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、立命館大学	3
				一流アスリートとの交流	スポーツ推進課	草津市 草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会	3
		(5)国スポ・障スポ、各種競技大会の推進	①国スポ・障スポの推進	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会	国スポ・障スポ推進室	草津市準備委員会	滋賀県　他	3
			②各種競技大会の開催	草津市民スポーツ大会	スポーツ推進課	草津市、スポーツ協会		3
				各種競技大会	スポーツ推進課	各実行委員会	スポーツ協会、草津市	2
4　スポーツ環境の充実	○社会体育施設等の利用者満足度 ○社会体育施設等の利用者数	(1)指導者の育成・ボランティア機会の充実	①指導者の育成	スポーツ指導員等の資質向上	スポーツ推進課	スポーツ協会	スポーツ少年団	3
			②スポーツ協会との連携	指導者人材バンク	スポーツ推進課	スポーツ協会		3
			③スポーツボランティア機会の充実	スポーツボランティアの積極的活用	スポーツ推進課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	4
		(2)スポーツ推進委員活動の推進	①地域のスポーツ活動の推進	スポーツ推進委員指導力向上事業	スポーツ推進課	スポーツ推進委員協議会		3
			②地域各種団体等との連携によるスポーツ活動の推進	スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ推進課	スポーツ推進委員協議会	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、各体育振興会、各地域スポーツクラブ	3
		(3)スポーツ情報の発信	①ホームページやSNSを活用した情報発信の充実	ホームページやSNS を活用した情報発信	スポーツ推進課	草津市スポーツ振興事業体 スポーツ協会、健・交クラブ	スポーツ推進委員協議会	3
			②各種情報メディアを活用した情報発信の充実	各種情報メディアの活用	スポーツ推進課	草津市 草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	3
		(4)社会体育施設等の整備・充実	①社会体育施設・公園等の整備・充実	オンライン施設予約システム	スポーツ推進課	草津市	草津市スポーツ振興事業体	3
				社会体育施設等整備改修事業 （再掲）	スポーツ推進課	草津市		再掲
				草津市立プール整備事業	プール整備事業推進室	草津市	滋賀県水泳連盟　他	3
				児童公園等再整備事業	公園緑地課	草津市	各町内会	4
			②施設のユニバーサルデザイン化等の推進	社会体育施設等整備改修事業 （再掲）	スポーツ推進課	草津市		再掲
			③地域まちづくりセンター等の地域の身近な施設の活用	地域まちづくりセンター 貸館事業	まちづくり協働課	草津市 各学区まちづくり協議会		3
		(5)学校体育施設開放の充実	①学校体育施設開放の充実	学校体育施設開放事業	スポーツ推進課	草津市	くさつ健・交クラブ、各地域スポーツクラブ	3
		(6)企業・大学等管理施設の有効活用	①企業・大学等管理施設の有効活用	企業等管理施設の一般開放	スポーツ推進課	草津市	企業等	3
5　スポーツによるまちの活性化	○広域的なスポーツイベントの参加者数 ○国スポ・障スポ参加者数（選手・監督、大会関係者、観戦者）	(1)各種関係団体と連携した取組の推進	①各種関係団体との連携強化	各種関係団体と連携したスポーツ活動	スポーツ推進課	各体育振興会	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、 スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ	3
			②大学等と連携したスポーツ活動の推進	大学等と連携したスポーツ活動	スポーツ推進課	各体育振興会	立命館大学、市内高等学校	2
			③企業等と連携したスポーツ活動の推進	くさつMIO夢先生事業 （再掲）	スポーツ推進課	草津市	レイラック滋賀FC、小・中学校	再掲
		(2)スポーツツーリズムの促進	①広範囲な集客が期待できる参加型イベントの活用	ワールドマスターズゲームズ2021関西	スポーツ推進課	草津市実行委員会	滋賀県、共催市実行委員会	3
				自転車競技大会の開催協力	商工観光労政課	京都車連	京都府自転車競技連盟・滋賀県自転車競技連盟	3
				くさつランフェスティバル	スポーツ推進課	大会実行委員会	商工会議所、観光物産協会	3
			②スポーツツーリズムを通じた交流促進	草津市版ヘルスツーリズム実証事業	商工観光労政課	草津市観光物産協会		3
		(3)スポーツ観戦機会の充実	①スポーツイベント等の推進	プロスポーツ等の誘致	公園緑地課	草津市スポーツ振興事業体	スポーツ協会、商工会議所	3
		(4)スポーツを通じた交流促進	①様々なかたちでのイベント参画を通じた市民の交流促進	スポーツ交流促進事業	スポーツ推進課	草津市、スポーツ協会 スポーツ推進委員協議会他		3
		(5)国スポ・障スポを契機とするスポーツレガシーの創出	①国スポ・障スポを市全体で支える機運の醸成	大会の機運醸成に向けた周知・啓発	国スポ・障スポ推進室	草津市準備委員会	滋賀県　他	3
			②国スポ・障スポを通じてのスポーツ文化の醸成と継承	大会レガシーの創出	国スポ・障スポ推進室 スポーツ推進課	草津市準備委員会	滋賀県　他	3

基本方針1　こどもの体力向上とスポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（1）乳幼児・児童の運動（遊び）の推進	①遊びを通した運動・スポーツの充実	こどもの運動・遊び推進事業	幼児課・子育て相談センター	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等	認定こども園、幼稚園、保育所、子育て相談センター		目標	様々な運動（遊び）を通じて、こどもの体力・運動能力の向上と、親同士やこども同士の交流を深めるきかっかけづくりにつなげる。				
				事業内容	認定こども園・幼稚園・保育所において、各園所の特色を生かした運動（遊び）の充実を図り、また、子育て支援センターにおいて、遊び場の提供や親子で身体を動かすことのできるイベントを開催する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	認定こども園・幼稚園・保育所において、身体を動かすことの楽しさを感じられるように日々の保育の中に運動遊びを取り入れることで毎日継続して身体を動かすことが生活の一部になり、健康的に過ごすことができた。 また、園所での取り組みを保護者に発信することで、親子で一緒に楽しんだり、幼児期における運動遊びの大切さを伝えたりすることができた。 子育て相談センターでは、親子が一緒に運動遊びを楽しむため、各年齢に合わせたマットや鉄棒を使った運動遊びのポイントを講師が伝え、親子が実践できる内容として実施した。結果、親子の遊びをより豊かにする一助となった。		計画	・運動能力調査（県主催）の参画 ・運動遊びプログラムの策定 ・運動遊びに関するイベントの開催	・運動能力調査（県主催）の参画 ・運動遊びプログラムの実施 ・運動遊びに関するイベントの開催	・運動能力調査（県主催）の参画 ・運動遊びプログラムの実施 ・運動遊びに関するイベントの開催	・運動能力調査（県主催）の参画 ・運動遊びプログラムの実施 ・運動遊びに関するイベントの開催	・運動能力調査（県主催）の参画 ・運動遊びプログラムの実施 ・運動遊びに関するイベントの開催
				課題	認定こども園・幼稚園・保育所において、「こどもが身体を動かすことが楽しい」と感じられるように活動内容を引き続き工夫していく。また、運動遊びの環境を工夫して、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力の向上をめざす。 子育て支援センターでは、乳幼児期から多様な遊びの経験ができるよう、身体を動かす楽しさや面白さについての容発が引き続き必要である。		実績	・10月　運動能力調査（県主催） ・幼児の運動遊びプログラムを策定し、モデル園2園で実施、検証をする。（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により10月に予定していた「親子で楽しむ運動遊び」を中止）	・運動遊びプログラム草津モデル策定 ・7月幼児の運動遊びプログラム草津モデル　シンポジウム開催 ・8月各園の運動遊びの取組を庁内1階ロビーにて掲示 ・研修会「園庭環境から運動遊びを学ぶ」（聖泉大学　炭谷教授） ・9月研修「幼児の運動遊びと運動発達研修」（橋大学　口野教授） ・10月運動能力調査（県主催）の参画 ・公立園所に年2回外部講師を派遣し、運動プログラム実施等 ・10月「親子で楽しむ運動遊び」を開催	・「親子で楽しむ運動遊び」を開催(6月・10月) ・各施設で年を通して運動遊びに取組む。 ・リズム運動 ・散歩 ・外部講師の活用 ・地域の方とのスポーツ交流等	・運動遊び ・リズム運動 ・散歩・地域探検 ・外部講師の活用 ・地域の方とスポーツ交流等 ・運動能力調査への参画 ・「親子で楽しく運動あそび」（年2回） ・「親子運動あそびタイム」（年1回）	・運動遊び ・リズム運動 ・散歩・地域探検 ・外部講師の活用 ・地域の方とスポーツ交流等 ・運動能力調査への参画 ・園スポ観戦 ・「親子で楽しく運動あそび」（年2回） ・「親子運動あそびタイム」（年1回）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	②親子で楽しむ運動・機会の充実	親子で参加できる各種スポーツ教室	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会		目標	スポーツを通じて、親と子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。				
				事業内容	親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	小学生以下の親子を対象としたｽﾎﾟｰﾂ教室を開催することで、スポーツの楽しさや達成感を伝えることができた。国スポ開催に伴う施設の利用制限があり、乳幼児向け教室は中止、その他の教室についても、計画を下回る教室数となったが、スポーツ少年団やスポーツ協会がおよび加盟団体が、積極的に企画・実施され、計画を上回って開催された。		計画	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室
				課題	乳幼児向けの教室が少ないことから、乳幼児の親子をﾀｰｹﾞｯﾄにした教室内容等について検討を進める必要がある。また、開催案内等の配信方法を工夫する必要があると考える。		実績	乳幼児対象　4教室 ・親と子の体操教室(春・秋) ・幼児サッカー教室(春・秋) 児童対象　2教室 ・小学生スポーツ教室(春・秋・冬) ・夏休みジュニアスポーツ教室	乳幼児対象　1教室 ・親と子の体操教室(春・秋) 児童対象　4教室 ・新春親子サッカー教室 ・夏休み親子サッカー教室 ・夏休みこども運動教室 ・未就学児サッカー教室(月4回)	【乳幼児対象教室】 1教室 ・親と子の体操教室(春・秋) 【児童対象教室】 ・小学生スポーツ教室（春・秋・冬） ・夏休みジュニアスポーツ教室 ・夏休みこども運動教室 ・夏休みこどもサッカー教室 ・新春親子テニス体験会 ・新春親子サッカー体験会	【乳幼児対象教室】 1教室 ・親と子の体操教室 【児童対象教室】 ・小学生スポーツ教室（春・夏・秋・冬） ・親子テニス体験会 ・新春親子サッカー体験会	【児童対象教室】6教室 ・夏休み子ども運動教室 ・夏休み親子テニス体験会 ・新春親子サッカー体験会 ・わんぱくキッズスポーツ教室（前・後期） ・夏休みスポーツ教室 ・小学生ソフトテニス教室
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	③地域ぐるみで取り組むこどもの運動・スポーツ機会の充実	地域協働合校	生涯学習課	実施主体	各推進組織		実施計画					
				関係団体等	地域住民、市民サークル、老人会、企業・大学関係者　など		目標	学校・家庭・地域の協働を通じて、生涯を通した学びや活動に関心を持つことができる機会の充実を図る。				
				事業内容	学校・家庭・地域がそれぞれ持つ教育機能を生かしながら、こどもと大人が、地域文化や現代的な課題などについて、学び合いの協働を積み重ねる社会を目指した活動を推進する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	学校を中心に、ニュースポーツや部活動指導等において地域住民等の支援を得て、より充実した体験活動が実施できた。		計画	支援者数　65人	支援者数　70人	支援者数　75人	支援者数　80人	支援者数　85人
				課題	学校・地域の連携により、こどもと大人が共に学び合い協働することで社会全体で学びを進めることを目指した地域協働合校の理念の周知徹底を行っていく必要がある。		実績	支援者数　94人 ・スポーツ体験・交流活動　51回　69人 ・部活動　25回　25人	支援者数　96人 ・スポーツ体験・交流活動　45回　89人 ・部活動　90回　7人	支援者数　75人 ・スポーツ体験・交流活動　46回　69人 ・部活動　99回　6人	支援者数　158人 ・スポーツ体験・交流活動　64回　156人 ・部活動　32回　2人	支援者数　91人 ・スポーツ体験・交流活動　28回　85人 ・部活動　150回　6人
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針1　こどもの体力向上とスポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（1）乳幼児・児童の運動（遊び）の推進	④プロスポーツ選手等と連携したこどものスポーツ機会の充実	くさつMIO夢先生事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市					
				関係団体等	レイラック滋賀FC、小・中学校		目標	児童生徒がスポーツの楽しさや素晴らしさを身近に感じ、スポーツをしたり、好きになるきっかけづくりにつなげる。		
				事業内容	市内の小・中学校においてレイラック滋賀FCと連携した体育の授業を行い、児童とレイラック滋賀FCの選手等のトップアスリートが交流できる機会の充実を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	小学生に対して、探求・キャリア教育の一環として実施した。		計画	くさつMIO夢先生事業開催　4回	くさつMIO夢先生事業開催　4回	くさつMIO夢先生事業開催　5回	くさつMIO夢先生事業開催　5回	くさつMIO夢先生事業開催　6回
				課題	令和6年度より実施回数は増加し、目標水準に達した。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	くさつMIO夢先生事業開催　2回 ・常盤小学校　6年（2回）	くさつMIO夢先生事業開催　4回 ・笠縫小学校6年（2回） ・志津南小学校6年（2回）	くさつMIO夢先生事業開催　3回 ・笠縫小学校5年（1回） ・志津南小学校5・6年（2回）	くさつMIO夢先生事業開催　1回 ・光泉中学校（1回）	くさつMIO夢先生事業開催　11回 ・草津小学校（1回） ・笠縫東小学校（4回） ・山田小学校（4回） ・常盤小学校（2回）
（2）学校体育の充実	①授業内容の充実と体育指導の向上	小・中学校体育連盟活動推進事業	学校教育課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等	小学校体育連盟、中学校体育連盟		目標	小・中学校体育連盟の連携を強化し、運動クラブ・部活動の活性化を図る。				
				事業内容	学校間の課題等の共有を図り、その解決策等について、協議・研究する機会の充実を図るとともに、タブレット端末等を活用した効率的・効果的な体育指導の向上を図ります。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	検討	継続	継続
				成果	小学校5年生と中学校2年生の新体力テストの結果では、女子の体力が昨年度より向上し、男女ともに全国平均とほぼ同等となった。		計画	推進会議　年2回	推進会議　年2回	推進会議　年2回 今後の推進事業の在り方について検討	終了	終了
				課題	小学校では運動領域ごとの短時間運動プログラムや全身持久力の向上に向けて研り組を進める必要がある。 中学校では各校が作成している「体力向上のPDCAシート」の見直し、活用を進めていく必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	推進会議　年2回	推進会議　年2回	推進会議　6月開催 3月開催	推進会議は実施しないが、小中学校共に年に1回研究協議会を実施。	小・中学校ともに研究協議会を実施。
		小・中学校体力向上プロジェクト事業	学校教育課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等	小学校体育連盟、中学校体育連盟、立命館大学		目標	児童・生徒の体力向上と体育指導者の資質向上につなげる。				
				事業内容	児童が楽しみながら、体力向上を図れるよう、ダンス教室を開催する。また、児童・生徒が意欲的に体育授業に取り組めるよう、立命館大学と協働して授業内容の研究と充実を図るとともに、指導者の資質向上に努める。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	検討	継続	継続
				成果	意欲的に体育授業に取り組めるように、立命館大学と協働して草津市体育科のモデル授業を運動領域ごとに作成した。また、モデル授業に係る研修を実施し指導者の資質向上につながった。		計画	ダンス教室14回（小） 体育実技講習会　1回 体育実技研修会　1回	ダンス教室14回（小） 体育実技講習会　1回 体育実技研修会　1回	ダンス教室14回（小） 体育実技講習会　1回 体育実技研修会　1回 ダンス教室や研修会の在り方について検討	これまでの取り組み内容をもとに、小学校体育授業充実事業として、体育実技講習会、実技研修会の実施	これまでの取り組み内容をもとに、小学校体育授業充実事業として、体育実技講習会、実技研修会の実施
				課題	作成した草津市モデル授業について、運動領域ごとに使用率が低いものがあるため、使用率の低いものや古いものの再編を検討する。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	ダンス教室14回（小） 体育実技講習会　1回 体育実技研修会　1回	ダンス教室15回（小） 体育実技講習会　1回 体育実技研修会　1回 教職員研修　1回	ダンス教室14回（小） 体育実技講習会　1回 体育実技研修会　1回 スポー傷害予防講習会　9回 ダンス教室や講習会の在り方について検討	体育実技講習会　1回 体育研修会　1回	体育実技講習会　1回 体育研修会　1回

基本方針1　こどもの体力向上とスポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（２）学校体育の充実	②大学と連携した学校体育の充実	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU	学校教育課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等	小学校体育連盟、立命館大学	目標	児童が様々なスポーツの体験・出会いを通じて、運動をすることが好きになるきっかけづくりにつなげる。				
				事業内容	市内の小学6年生が一堂に会するスポーツイベントを立命館大学と連携して開催し、日ごろの体育授業の取組の成果を発揮する場や大学の様々な運動部と交流できる機会をつくる。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	なわとびの8の字とびを市内3年生以上で競い合い、計83チームの参加があった。市内での交流機会ということもあり、子どもの運動機会が増えた。	区分	継続	継続	検討	継続	継続
				課題	各校オンラインでつないでいるが、跳んでいる児童が配信を見ることできないため、当日の運営方法に課題がある。	計画	10月開催	10月開催	10月開催 大会の在り方について検討	レッツエンジョイスポーツとして、9月～2月各校により実施	レッツエンジョイスポーツとして、9月～2月各校により実施
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	感染症の影響により、ジュニアスポーツフェスティバルは中止し、代替事業として「レッツエンジョイスポーツ！2021」を各学校で実施。	感染症の影響により、ジュニアスポーツフェスティバルは中止し、代替事業として「レッツエンジョイスポーツ！2022」を各学校で実施。	ジュニアスポーツフェスティバルは中止し、代替事業として「レッツエンジョイスポーツ！2023」を各学校で実施。	市内6年生を対象にレッツエンジョイスポーツ2024実施	レッツエンジョイスポーツ2025実施
	③学校・大学・児童育成クラブとの連携による体力向上	草津市チャレンジタイム	学校教育課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等		目標	児童の体力向上につなげる。				
				事業内容	児童育成クラブや大学との連携を図りながら、短時間運動プログラム「草津市チャレンジタイム」の充実に努めることで児童の体力向上を進めます。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	授業の運動領域に合わせた短時間運動プログラムの年間計画が完成し体育科授業で各校実施した。小学5年生男女ともに新体力テストの結果が県平均を上回った。	区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題	運動領域と合わせた短時間運動プログラムの実施が難しかった。より教員が取りくみやすい短時間運動プログラムの計画を検討する必要がある。	計画	学校での継続的な実施 児童育成クラブとの連携	学校での継続的な実施 児童育成クラブとの連携	学校での継続的な実施 児童育成クラブとの連携 今後の実施方法について検討	学校での継続的な実施 児童育成クラブとの連携	学校での継続的な実施 児童育成クラブとの連携
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	児童育成クラブとの連携は感染症の影響もあり、できなかった。各学校では継続的に取り組んだ。	児童育成クラブとの連携は感染症の影響もあり、できなかった。各学校では継続的に取り組んだ。	体育科授業で各校実施	体育科授業で各校実施	体育科授業で各校実施
（３）部活動の充実	①スポーツ関係団体や大学等と連携した部活動の支援	運動クラブ・部活動支援事業	学校教育課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等	スポーツ協会、立命館大学	目標	児童・生徒の競技力や運動クラブ・部活動に取り組む意欲の向上につなげる。				
				事業内容	運動クラブ・部活動の充実した運営体制の構築を図るため、スポーツ関係団体や大学等と連携し、指導者や支援員の派遣等を行う。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	部活動指導員12名、部活動支援員6名の任用ができ、専門的な指導が充実した。	区分	継続	継続	検討	継続	継続
				課題	学校が希望する種目の指導員を見つけることが難しい等課題が残った	計画	支援件数　12件 （市内6中学校×2名配置）	支援件数　12件 （市内6中学校×2名配置）	支援件数　12件 （市内6中学校×2名配置） 部活動のあり方や指導員の配置について検討	支援件数　12件 （市内6中学校×2名配置） 部活動あり方検討委員会開催　年2回	支援件数　12件 （市内6中学校×2名配置） 部活動あり方検討委員会開催　年2回
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	部活動指導員5名 部活動支援員7名 各校に2名ずつ配置できるようにした。	部活動指導員6名 部活動支援員6名	部活動指導員6名 部活動支援員6名 部活動あり方検討懇談会開催　8月・2月	部活動指導員12名 部活動支援員6名 部活動運営検討委員会（9月、1月）	部活動指導員12名 部活動支援員6名

基本方針1　こどもの体力向上とスポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（4）スポーツ少年団活動の活性化	①スポーツ少年団の支援	スポーツ少年団事業補助金	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等	スポーツ少年団（スポーツ協会）	目標	スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。			
				事業内容	こどもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。学校や地域のスポーツ関係団体等と連携し、スポーツ少年団活動の情報発信を積極的に行い、団員の確保に努める。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
						計画	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数27団体 団員数600人	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数30団体 団員700人	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数33団体 団員数800人	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数36団体 団員数900人	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数39団体 団員数1，000人
				成果	計画通りの事業を展開することができ、スポーツ少年団の交流を図ることが出来た。						
				課題	団員数、団体数に若干の増加となったものの、更なるスポーツ少年団の魅力の発信と、団員確保と新たな単位団の設立に向け、より一層の周知方法や内容の工夫等に取り組む必要がある。	実績	団体数　22団体 団員数　507人 事業実施回数　4回（6／10回コロナ中止）	団体数　22団体 団員数　442人 事業実施回数　10／10回	団体数　22団体 団員数　469人 事業実施回数　10／10回	団体数　22団体 団員数　468人 事業実施回数　10／10回	団体数　23団体 団員数　487人 事業実施回数　10／10回
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
（5）スポーツ傷害の予防	①スポーツ傷害に関する学習の推進	スポーツ傷害予防講習会	学校教育課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等	中学校体育連盟	目標	生徒のスポーツ障害に対する意識の醸成を図り、スポーツ活動中の事故等の予防に努める。			
				事業内容	生徒が自身や他者の健康や安全を保持していくことで、継続的にスポーツできるよう、中学校におけるスポーツ傷害に関する学習を推進する。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	検討	継続	継続
						計画	スポーツ傷害にかかる実技講習会	スポーツ傷害にかかる実技講習会	スポーツ傷害にかかる実技講習会 講習会の在り方について検討	これまでの取り組み内容をもとに、各学校で自立的に実施	これまでの取り組み内容をもとに、各学校で自立的に実施
				成果	令和5年度までの講習会により教員の傷害予防に係る知識が増え、授業を実施できるようになり、運動中のけがが減少した。						
				課題	今後、教員とともに部活動指導員や支援員への知識の共有が必要である。	実績	スポーツ傷害予防にかかる実技講習会各中学校で少なくとも1回実施	スポーツ傷害予防にかかる実技講習会各中学校で少なくとも1回実施	スポーツ傷害予防講習会各中学校で少なくとも1回実施	各校でスポーツ傷害予防に係るけがの防止について授業、部活動で実施	各校でスポーツ傷害予防に係るけがの防止について授業、部活動で実施
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	②スポーツ傷害を防ぐ指導者の育成	スポーツ指導者講習会	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ協会	実施計画				
				関係団体等	草津市スポーツ振興事業体	目標	指導者のスポーツ傷害に対する意識の醸成を図り、こどものスポーツ活動中の事故等の予防に努める。			
				事業内容	こどもが継続してスポーツに取り組んでいけるよう、スポーツ傷害に関する豊富な知識を持つ指導者の育成を図る。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
						計画	指導者講習会　1回 専門講座　3回	指導者講習会　1回 専門講座　3回	指導者講習会　1回 専門講座　3回	指導者講習会　1回 専門講座　3回	指導者講習会　1回 専門講座　3回
				成果	スポーツ少年団指導者向けとして、「成長期に必要なトレーニング」また、「勇気を与える感動のスピーチ」をベースに、スポーツ現場はもちろん、家庭で、職場で、教育現場ですぐに実践できるシンプルでポジティブな言葉を使ったコミュニケーションの専門講座を開催することができ、スポーツに携わり活躍している方々の資質向上につなげることができた。						
				課題	スポーツ傷害の防止に取り組んでいる専門家を引き続き講師として招き、「食」に関する内容も取り入れ、スポーツに携わる多くの方々に伝えることができるよう進めることが必要である。	実績	（スポーツ協会） 指導者講習会　コロナ禍により中止	指導者講習会　2回	指導者・育成会講習会　1回	指導者講習会　1回 専門講座　1回	指導者講習会　1回 専門講座　1回
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針2　生涯スポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（1）ライフステージにあわせた健康づくりの推進	①ライフステージに応じた事業の推進	健康推進アプリ「BIWA-TEKU（ビワテク）」	健康増進課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等			目標	健康づくりに対する関心の高まり、生活習慣改善に向けた行動変容のきっかけづくりやモチベーションの高まりにつなげる。				
				事業内容	市民の積極的な健康づくりを促進するため、けん診の受診や、健康講座への参加等、健康づくりに関する取り組み状況に応じてポイントを付与し、貯まったポイントで賞品の抽選に応募ができる。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	3か月に1回3つ以上、市内ウォーキングコースを作成するとともに、庁内各課や関係団体と連携し、健康に関するイベント参加時にポイント付与が受けられるようにすることで、アプリダウンロード数は計画値を上回る増加となり、市民の健康づくりに資する事業展開を行うことできた。		計画	ビワテクアプリダウンロード数 3，000人 （R3.1.1～R3.12.31）	ビワテクアプリダウンロード数 3，500人 （R4.1.1～R4.12.31）	ビワテクアプリダウンロード数 4，000人 （R5.1.1～R5.12.31）	ビワテクアプリダウンロード数 4，500人 （R6.1.1～R6.12.31）	ビワテクアプリダウンロード数 5，000人 （R7.1.1～R7.12.31）
				課題	草津市内累計ダウンロード者数は増加しているものの、ポイントを取得していないユーザーが半数以上を占めていることから、アプリ利用者が継続して事業に参加し、健康への意識向上に繋がるよう、周知・啓発方法の検討や賞品協賛事業所や各種事業と連携した取組を行っていく必要がある。		実績	ビワテクアプリダウンロード数 （総数） 3，429人 ポイント付与期間1月～12月 抽選応募期間1月	ビワテクアプリダウンロード数 （総数）4，135人 ポイント付与期間1月～12月 抽選応募期間1月	ビワテクアプリダウンロード数 （総数）4，690人 ポイント付与期間1月～12月 抽選応募期間1月	ビワテクアプリダウンロード数 （総数）5，087人 ポイント付与期間1月～12月 抽選応募期間1月	ビワテクアプリダウンロード数 （総数）5，672人 ポイント付与期間1月～12月 抽選応募期間1月
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
		ウオーキング推進事業	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ推進委員協議会、くさつ健・交クラブ		実施計画					
				関係団体等	立命館大学、ボランティアガイド協会　他		目標	誰でも気軽に取り組むことができるウオーキングを通じて、市民の健康づくりに対する機運の高まりにつなげる。				
				事業内容	年間を通したウオーキング事業等を開催し、ウオーキングを通じた健康づくりを推進するとともに、年齢に応じたウオーキングや、ウオーキングを通じて交流ができる環境づくりを行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	天候により中止になった回もあったが、継続的に事業を開催することで、ウオーキングを通じた健康づくりや交流を推進することができた。		計画	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回
				課題	多くの市民がウオーキングやﾉﾙﾃﾞｨｯｸｳｵｰｸに親しみ、継続して実施してもらえるような工夫を行う必要がある。		実績	○歩こう会　6回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ　33回	○歩こう会　11回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ　33回	○歩こう会　11回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ　41回	○歩こう会　11回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ　38回	○歩こう会　8回 ○健・交クラブ　ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ37回　体験会（跡地公園と共催4回、草津市民プール事業支援2回）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
		親子で参加できる各種スポーツ教室 （再掲）	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会		目標	スポーツを通じて、親と子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。				
				事業内容	親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果			計画	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室
				課題			実績	乳幼児対象　4教室 ・親と子の体操教室(春・秋) ・幼児サッカー教室(春・秋) 児童対象　2教室 ・小学生スポーツ教室(春・秋・冬) ・夏休みジュニアスポーツ教室	乳幼児対象　1教室 ・親と子の体操教室(春・秋) 児童対象　4教室 ・新春親子サッカー教室 ・夏休み親子サッカー教室 ・夏休みこども運動教室 ・未就学児サッカー教室(月4回)	【乳幼児対象教室】 1教室 ・親と子の体操教室(春・秋) 【児童対象教室】 ・小学生スポーツ教室（春・秋・冬） ・夏休みジュニアスポーツ教室 ・夏休みこども運動教室 ・夏休みこどもサッカー教室 ・新春親子テニス体験会 ・新春親子サッカー体験会	【乳幼児対象教室】 1教室 ・親と子の体操教室 【児童対象教室】 ・小学生スポーツ教室（春・夏・秋・冬） ・親子テニス体験会 ・新春親子サッカー体験会	
				評価		5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針2　生涯スポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
（1）ライフステージにあわせた健康づくりの推進	②気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進	学区対抗スポレク祭	スポーツ推進課	実施主体	体育振興会連絡協議会		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会		目標	身近にスポーツを感じられる機会の充実を図るとともに、スポーツを通じた世代間の交流につなげる。				
				事業内容	こどもから高齢者までみんなでスポーツを楽しむことができるニュースポーツ等を実施し、市内14学区の連携と親睦を図り、生涯スポーツの普及と発展、市民の健康促進を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	開催方式が学区対抗となって3回目の開催となり、参加が14学区から12学区へ減少したが、各チーム2試合以上実施することができて、参加者にはスポーツを楽しむ機会を提供することができた。		計画	参加者数600人	参加者数650人	参加者数700人	参加者数750人	参加者数800人
				課題	参加学区の減少により、参加人数も減少しており、市内14学区の連携と親睦を図るという目的の達成が難しくなっている。今後より多くの学区に参加いただく工夫が必要である。							
				評価	2	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加者数198人	参加者数　309人	参加者数　275人
		草津川跡地公園での健幸イベント	健康福祉政策課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等	草津まちづくり会社、草津川跡地公園マネジメント・パートナーズ		目標	働く世代や元気な高齢者、こどもたちなど幅広い世代に対して、健康づくりや運動のきっかけづくりを図る。				
				事業内容	こどもから高齢者まで、幅広い世代に対して健康づくりや運動のきっかけづくりを進めるとともに、健康拠点である草津川跡地公園の賑わい創出を図るため、健幸イベントを実施する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	働き世代の方が仕事帰りに立ち寄れるよう、また熱中症対策として初の平日夜間開催で実施した結果、夜間の公共空間が暮らしの質を高める場として機能しうることを示すことができた。 また、「睡眠×美容」をテーマとし、ハンモックを設置した芝生エリアなど、全6エリア構成で展開したほか、メインコンテンツの睡眠をテーマにしたトークショーでは、参加者が日常に取り入れやすい「暮らしの改善のヒント」を提供したことで、市民が健幸づくりに取り組むことのきっかけを提供することができた。		計画	イベントの参加人数 800人	イベントの参加人数 1，000人以上	イベントの参加人数 1，000人以上	イベントの参加人数 1，000人以上	イベントの参加人数 1，000人以上
				課題	継続した健幸づくりのために、今後もイベント等で啓発をする必要がある。 夜間開催にしたことで働き世代へのアプローチを強化できたが、集客面については課題が残ることから、土曜夜間での開催や、内容の充実を図っていく必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	・健幸フェア 参加者　748人	・健幸フェア 参加者　1，267名	・健幸フェア 参加者　2，398名	・健幸フェア 参加者　6，111名	・健幸フェア 参加者　1，415名
	③高齢者が気軽に参加できる事業の推進	老人クラブ活動支援	長寿いきがい課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等	老人クラブ連合会		目標	社会福祉の増進を図り、明るく活力のある高齢社会の実現を目指す。				
				事業内容	老人クラブ連合会主催の「健康フェスティバル」等の高齢者が気軽に参加できる事業を支援し、高齢者の健康づくりの機会の充実を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	高齢者の健康づくりの機会の充実を図るため、ノルディック・ウオーキングを活用した「健康ウォーキング」や草津東高等学校と連携したグラウンドゴルフ大会など、高齢者が気軽に参加できる事業の支援を行った。その結果、明るく活力のある高齢社会を実現させようとする機運の高まりにつながった。		計画	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。
				課題	会員数が減少していることから、引き続き、老人クラブ活動の活性化および会員数増加に向けた取り組みについて、老人クラブ連合会と連携して力を入れていく必要がある。							
				評価	4	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	・健康ウォーキング（6月、11月、1月） ・ニュースポーツ体験会（10月、11月、12月）	・健康ウォーキング（6月、11月、1月） ・ニュースポーツ体験会（10月、11月、12月） ・グラウンドゴルフ大会（7月）	・健康ウォーキング（5月、6月、11月、1月） ・健康フェスティバル（10月） ・グラウンドゴルフ大会（7月）	・健康ウォーキング（5月、6月、11月、1月） ・グラウンドゴルフ大会（7月）	・健康ウォーキング（5月、10月、1月） ・グラウンドゴルフ大会（7月） ・健康フェスティバル（11月） ・草津東高等学校とのグラウンドゴルフ大会（1月）

基本方針2　生涯スポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
（1）ライフステージにあわせた健康づくりの推進	③高齢者が気軽に参加できる事業の推進	キラリエ草津☺健幸大学 →R6～健幸フレイル予防講座	長寿いきがい課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等			目標	高齢者の介護予防や社会参加を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。				
				事業内容	高齢者が気軽に運動や栄養・口腔、認知症など、様々な分野について学べる機会を提供し、自ら介護予防に取り組むとともに、支援者としての活動や地域での自主活動につなげる。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
				成果	高齢者が運動、栄養、口腔、薬剤等、様々な分野について学べる機会を提供し、自身のフレイルの状態に気付き、自らフレイル予防に取り組むことができるように支援を行った。		計画	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　24回	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　24回	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　24回	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　24回	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　12回
				課題	講座で学んだことを受講者自身の生活の中に取り入れようとする姿がみられた。令和6年度では常盤まちづくりセンターとさわやか保健センターの2か所、令和7年度では笠縫東まちづくりセンターと志津まちづくりセンターでフレイル予防健幸講座を実施できた。参加人数を増やしていくために、参加したいと思えるような内容としたり、周知方法も工夫していく必要がある。		実績	◆講座開催数 22回 （緊急事態宣言下のため、2回講座開催中止）	◆講座開催数 24回	◆講座開催数 23回 （24回実施予定だったが、雨のため1回中止）	◆講座開催数 12回 （R6～キラリエ草津☺健幸大学→健幸フレイル予防講座に変更し、実施回数も12回/1クール×2クール→6回/1クール×2クールに変更）	◆講座開催数 12回
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
		いきいき百歳体操	長寿いきがい課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等			目標	身体を動かすことにより高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。				
				事業内容	いきいき百歳体操等の軽運動の普及・促進により、地域ぐるみで高齢者の介護予防を推進する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	いきいき百歳体操に取り組む団体に対し活動団体への継続支援や、新規団体の立ち上げ支援を行い、前年度と比較し1団体減少したものの、登録人数は増加している。年に1回の評価や交流会の実施により活動意欲の継続を推進した。		計画	地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。	地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。
				課題	参加者・団体代表者の高齢化や新規活動団体の鈍化がある。既存団体の活動継続を促す支援を進めるとともに、介護予防活動にまだ参加していない新規の参加獲得について検討が必要である。		実績	実施団体数　125団体	実施団体数　127団体	実施団体数　127団体	実施団体数　130団体	実施団体数　129団体
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	④ウオーキングの推進	ウオーキング推進事業 （再掲）	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ推進委員協議会、くさつ健・交クラブ		実施計画					
				関係団体等	立命館大学、ボランティアガイド協会　他		目標	誰でも気軽に取り組むことができるウオーキングを通じて、市民の健康づくりに対する機運の高まりにつなげる。				
				事業内容	年間を通したウオーキング事業等を開催し、ウオーキングを通じた健康づくりを推進するとともに、年齢に応じたウオーキングや、ウオーキングを通じて交流ができる環境づくりを行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果			計画	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回	○歩こう会の実施回数：年12回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙの実施回数：年38回
				課題			実績	○歩こう会　6回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ　33回	○歩こう会　11回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ　33回	○歩こう会　11回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ　41回	○歩こう会　11回 ○ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｻｰｸﾙ　38回	
				評価		5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針2　生涯スポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価								
（1）ライフステージにあわせた健康づくりの推進	⑤ランニングの普及	びわ湖レイクサイドマラソン	スポーツ推進課	実施主体	大会実行委員会		実施計画					
				関係団体等	滋賀県、滋賀県陸上協会		目標	誰もが気軽に参加できるランニングイベントを開催し、ランニングによる健康づくりの普及につなげる。				
				事業内容	「びわ湖レイクサイドマラソン」等のマラソン事業を通じて、ランニングの普及を図り、健康づくりに対する機運の高まりにつなげます。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	びわ湖レイクサイドマラソンの開催	びわ湖レイクサイドマラソンの開催	びわ湖レイクサイドマラソンの開催	びわ湖レイクサイドマラソンの開催	びわ湖レイクサイドマラソンの開催
				成果	第4回目となるびわ湖マラソン大会として開催し、県内外から多くの方に参加いただくことができた。エントリー数およびスタート数は過去最多となった。							
				課題	より良い大会となるよう、県や関係市町と調整を図りながら、課題等について解決していく必要がある。		実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの開催	びわ湖マラソンとして開催 参加者 6，332人	びわ湖マラソンとして開催 参加者 6，628人	びわこマラソンとして開催 参加者 7，190人	びわこマラソンとして開催 参加者 7，562人
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	⑥健康推進員による体操の普及啓発	くさつ健康はつらつ体操	健康増進課	実施主体	健康推進員連絡協議会		実施計画					
				関係団体等			目標	地域におけるくさつ健康はつらつ体操の普及と促進に努め、市民の健康増進につなげる。				
				事業内容	地域のまつりや運動会、ふれあいサロン等において「くさつ健康はつらつ体操」を行い、体操の普及・促進に努め、市民の健康保持・増進を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。	くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。	くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。	くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。	くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。
				成果	市民の健康保持・増進を図るため、健康推進員が中心となり、地域で「くさつ健康はつらつ体操」を実施し、体を動かすことの大切さの周知・啓発を行った。その結果、幅広い市民に「くさつ健康はつらつ体操」を知ってもらえることに加え、健康づくりのきっかけづくりを行うことができた。							
				課題	「くさつ健康はつらつ体操」の実施機会や参加人員が増加しており、また健康推進員の活動回数も増加傾向にあることから、今後もより多くの市民に健康づくりへの関心をもってもらえるよう、「くさつ健康はつらつ体操」の効果的な普及・啓発を行っていく必要がある。		実績	<くさつ健康はつらつ体操> 地域のイベント等で体操を実施した回数 3回 健康推進員出動人数 20人 市民の参加人数 88人 市YouTube視聴回数（総数） 341回（R.4.5.20現在）	<くさつ健康はつらつ体操> 地域のイベント等で体操を実施した回数 4回 健康推進員出動人数 25人 市民の参加人数 95人 市YouTube視聴回数（総数） 692回	<くさつ健康はつらつ体操> 地域のイベント等で体操を実施した回数 5回 健康推進員出動人数 67人 市民の参加人数 635 人 市YouTube視聴回数（総数） 1，016回（R6.4.15現在）	<くさつ健康はつらつ体操> 地域のイベント等で体操を実施した回数 18回 健康推進員出動人数 113人 市民の参加人数 1，961 人 市YouTube視聴回数（総数） 1，446回（R7.5.2現在）	<くさつ健康はつらつ体操> 地域のイベント等で体操を実施した回数 9回 健康推進員出動人数 71人 市民の参加人数 1，134 人 市YouTube視聴回数（総数） 1，841回（R8.5.1在）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
（2）「する」「みる」「支える」「知る」スポーツの参加促進	①スポーツ活動機会の充実	チャレンジスポーツデー	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、体育振興会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、立命館大学		目標	様々なスポーツを体験できる機会を提供することで、市民のスポーツ活動機会の充実を図る。				
				事業内容	市内の社会体育施設等で誰もが参加できるスポーツイベントを開催し、市民の健康づくりと市民相互の交流を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	参加者数3，500人	参加者数3，700人	参加者数4，000人	参加者数4，500人	参加者数5，000人
				成果	市内各地で、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを開催したことで、市民の健康づくりや交流の機会を提供することができた。							
				課題	昨年から参加者数は増加したが、目標の参加者数には届いていない。イベントの周知をさらに積極的に行い、参加者の確保に努める必要がある。		実績	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加者数 2，716人	参加者数 2，794人	参加者数 2，861人
				評価	2	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針2　生涯スポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（２）「する」「みる」「支える」「知る」スポーツの参加促進	①スポーツ活動機会の充実	親子で参加できる各種スポーツ教室（再掲）	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画				
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	目標	スポーツを通じて、親と子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。			
				事業内容	親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果		区分	継続	継続	継続	継続	継続
				課題		計画	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室	乳幼児期対象　4教室 児童期対象　2教室
				評価	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	乳幼児対象　4教室 ・親と子の体操教室(春・秋) ・幼児サッカー教室(春・秋) 児童対象　4教室 ・小学生スポーツ教室(春・秋・冬) ・夏休みジュニアスポーツ教室	乳幼児対象　1教室 ・親と子の体操教室(春・秋) 児童対象　4教室 ・新春親子サッカー教室 ・夏休み親子サッカー教室 ・夏休みこども運動教室 ・未就学児サッカー教室(月４回)	・「親子で楽しむ運動遊び」を開催(6月・10月) ・各施設で年を通して運動遊びに取組む。 ・リズム運動 ・散歩 ・外部講師の活用 ・地域の方とのスポーツ交流等	【乳幼児対象教室】 1教室 ・親と子の体操教室 【児童対象教室】 ・小学生スポーツ教室（春・夏・秋・冬） ・親子テニス体験会 ・新春親子サッカー体験会	
	②初心者向けスポーツ教室の開催促進	初心者向け等各種スポーツ教室事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体	実施計画				
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	目標	スポーツへの出会いやきっかけづくりのほか段階的な事業展開により、スポーツ文化の醸成およびその定着化につなげる。			
				事業内容	初心者向けや段階的なステップアップを目的としたスポーツ教室の開催を促進し、スポーツ機会の充実とスポーツ愛好者の裾野の拡大を図る。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	国スポ開催のため施設使用制限があり、段階的なステップアップ講座は中止とした。今後継続して開催することにより、幅広い対象者に向けたスポーツ機会の充実を図りたい。	区分	新規	継続	継続	継続	継続
				課題	引き続き、初心者でも気軽にスポーツをはじめ、継続的に楽しむことのできる教室の開催を行い、多くの市民がスポーツに参加できるよう取り組む必要がある。	計画	初心者向けスポーツ教室　13教室 段階的なステップアップ教室　4教室	初心者向けスポーツ教室　13教室 段階的なステップアップ教室　4教室	初心者向けスポーツ教室　13教室 段階的なステップアップ教室　4教室	初心者向けスポーツ教室　13教室 段階的なステップアップ教室　4教室	初心者向けスポーツ教室　13教室 段階的なステップアップ教室　4教室
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	○初心者向けスポーツ教室 ・少年少女スポーツ教室　5教室 （ほか、2教室はコロナで中止） ・市スポーツ協会主催（サッカー以外コロナで中止、野球、テニス、剣道）　5教室 ○段階的なステップアップ教室 ・初級・中級教室　テニス4教室	○初心者向けスポーツ教室 ・少年少女スポーツ教室　7教室 ・市スポーツ協会主催（ｻｯｶｰ、ｿﾌﾄﾃﾆｽ、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ、野球、剣道）5教室 ○段階的なｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ教室 ・初級・中級　テニス4教室	○初心者向けスポーツ教室 ・少年少女スポーツ教室　7教室 ・市スポーツ協会主催（ｻｯｶｰ、ｿﾌﾄﾃﾆｽ、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ、テニス、柔道、剣道、野球）　7教室 ○段階的なステップアップ教室 ・ジュニア卓球教室　1教室	○初心者向けスポーツ教室 ・市スポーツ協会主催（サッカー、ソフトテニス、バレーボール、テニス、柔道、剣道、野球、わんぱくキッズ、護身術）　9教室 ○段階的なステップアップ教室 ・ジュニア卓球教室　1教室	○初心者向けスポーツ教室 ・市スポーツ協会主催（サッカー、ソフトテニス、バレーボール、テニス、柔道、剣道、野球、わんぱくキッズ夏休みスポーツ、護身術）10教室 ○段階的なステップアップ教室 ・ジュニア卓球教室（国スポ開催のため中止）0教室
	③「する」「みる」「支える」「知る」様々なかたちでのイベント参画機会の提供	スポーツの多様な関わり方周知啓発事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等	草津市スポーツ振興事業体、スポーツ協会、くさつ健・交クラブ	目標	周知啓発等により、それぞれ自分にあった関わり方で親しむことができる市民のスポーツ参画機会の充実を図る。			
				事業内容	各種スポーツイベントのさらなる周知啓発を図るとともに、多様なスポーツの価値を知ってもらうための周知啓発を併せて図る。また、多様なスポーツの関わり方で参画する機会を提供する。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
				成果	各種イベントや事業について、広く市民に周知することができた。	区分	新規	継続	継続	継続	継続
				課題	引き続き、市民がスポーツと多様な関わり方ができるよう、情報発信に努める必要がある。	計画	広報くさつ掲載　21回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体	広報くさつ掲載　22回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体	広報くさつ掲載　22回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体	広報くさつ掲載　22回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体	広報くさつ掲載　23回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	広報くさつ　23回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体	広報くさつ　27回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体	広報くさつ33回/年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市他3団体	広報くさつ掲載34回/年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体	広報掲載42回/年 市ほか関係団体ホームページ掲載　市ほか3団体

基本方針2　生涯スポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（３）食育による健康づくりの推進	①こどもの食育の推進	離乳食レストラン	子育て相談センター	実施主体	健康推進員連絡協議会		実施計画					
				関係団体等			目標	子育てを行う保護者が、離乳食の進め方を習得するとともに、保護者同士の交流により、それぞれが持つ育児不安の解消につなげる。				
				事業内容	子育てを行う保護者が、離乳食のレシピや時期に応じた調理方法、栄養バランス等に関する食育について学び、保護者同士の交流や情報交換を行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	保護者が離乳食を試食や調理見学をすることで、離乳食のイメージを具体的に持ち、調理方法について習得してもらうことができた。健康推進員連絡協議会による食育フェルトパネルは、100%の参加者が参考になったと回答しており、家族の栄養バランスを振り返るきっかけづくりとなった。		計画	離乳食レストラン　21回/年の開催	離乳食レストラン　21回/年の開催	離乳食レストラン　21回/年の開催	離乳食レストラン　21回/年の開催	離乳食レストラン　21回/年の開催
				課題	育児や離乳食について情報が溢れる中、保護者が正しい知識を身につけ、実践できるような取り組みが必要である。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	年間19回実施 （新型コロナウィルス感染症拡大防止のため2回中止）	年間21回実施	年間21回実施	年間21回実施	年間21回実施
		食育の推進	学校給食センター	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等			目標	食生活について意識の醸成を図り、心身の健全育成に努める。				
				事業内容	学校での栄養指導を行うとともに、児童等の家庭における食生活について意識の醸成を図るため啓発を行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	食生活について意識の醸成を図るため、栄養教諭による各小中学校での栄養指導や給食だよりの配布を実施した。その結果、学校給食の取り組みや児童等の家庭における食生活について意識の醸成を図ることができた。		計画	栄養指導や啓発活動を実施する。	栄養指導や啓発活動を実施する。	栄養指導や啓発活動を実施する。	栄養指導や啓発活動を実施する。	栄養指導や啓発活動を実施する。
				課題	よりよい指導や啓発に向けて内容の充実を図るために、今後も引き続き指導・啓発について検討していく必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	・コロナ禍であることから栄養指導は資料の配付とした。 （14小学校） ・啓発活動　11回 （児童等へ給食だよりの配付、HP掲載）	・栄養教諭による栄養指導の実施。 （14小学校、2中学校） ・啓発活動　11回 （児童・生徒等へ給食だよりの配付、HP掲載）	・栄養教諭による栄養指導の実施。 （14小学校、2中学校） ・啓発活動　11回 （児童・生徒等へ給食だよりの配付、HP掲載）	・栄養教諭による栄養指導の実施。 （14小学校、4中学校） ・啓発活動　11回 （児童・生徒等へ給食だよりの配付、HP掲載）	・栄養教諭による栄養指導の実施。 （14小学校、3中学校） ・啓発活動　11回 （児童・生徒等へ給食だよりの配付、HP掲載）
	②高齢者の食育の推進	キラリエ草津☺健幸大学 →R6～健幸フレイル予防講座	長寿いきがい課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等			目標	高齢者の介護予防や社会参加を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。				
				事業内容	高齢者が気軽に運動や栄養・口腔、認知症など、様々な分野について学べる機会を提供し、自ら介護予防に取り組むとともに、支援者としての活動や地域での自主活動につなげる。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
				成果	高齢者が運動、栄養、口腔、薬剤等、様々な分野について学べる機会を提供し、自身のフレイルの状態に気付き、自らフレイル予防に取り組むことができるように支援を行った。		計画	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　24回	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　24回	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　24回	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　24回	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数　12回
				課題	講座で学んだことを受講者自身の生活の中に取り入れようとする姿がみられた。令和6年度では常盤まちづくりセンターとさわやか保健センターの2か所、令和7年度では笠縫東まちづくりセンターと志津まちづくりセンターでフレイル予防健幸講座を実施できた。参加人数を増やしていくために、参加したいと思えるような内容としたり、周知方法も工夫していく必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	◆講座開催数 22回 （緊急事態宣言下のため、2回講座開催中止）	◆講座開催数 24回	◆講座開催数 23回 （24回実施予定だったが、雨のため1回中止）	◆講座開催数 12回 （R6～キラリエ草津☺健幸大学→健幸フレイル予防講座に変更し、実施回数も12回/1クール×2クール→6回/1クール×2クールに変更）	◆講座開催数 12回

基本方針2　生涯スポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価									
（４）体育振興会活動の充実	①学区単位のスポーツ活動の充実	地域スポーツイベントの開催	スポーツ推進課	実施主体	各体育振興会		実施計画						
				関係団体等	各スポーツ推進委員		目標	地域のスポーツ活動の活性化により、地域内の交流や学区間の連携強化につなげる。					
				事業内容	学区運動会をはじめとした地域の各種スポーツイベントの活性化を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7	
							区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				成果	各地域で運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた地域内交流の機会づくりに向けた取り組みを行った。		計画	学区運動会の開催や、チャレンジスポーツデー等の開催	学区運動会の開催や、チャレンジスポーツデー等の開催	学区運動会の開催や、チャレンジスポーツデー等の開催	学区運動会の開催や、チャレンジスポーツデー等の開催	学区運動会の開催や、チャレンジスポーツデー等の開催	
				課題	地域によっては、若い世代の参加者が少ない状況等があるため、開催日やプログラム等を工夫し、より多くの方が参加しやすい環境づくりを行う必要がある。		実績	・学区運動会：新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・チャレンジスポーツデー：新型コロナウイルス感染症の影響により中止	・学区運動会：新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった学区もあったが、開催方法や開催時間を工夫し実施した学区もあったため、体育振興会連絡協議会で情報共有を行った。 ・ﾁｬﾚﾝｼﾞｽﾎﾟｰﾂﾃﾞｰ：中止	・学区運動会：4学区で開催。 ・ﾁｬﾚﾝｼﾞｽﾎﾟｰﾂﾃﾞｰ：13学区で開催。 ・その他スポーツイベント:6学区で開催	・学区運動会：6学区で開催 ・チャレンジスポーツデー：13学区で実施。	・学区運動会：3学区で開催 ・チャレンジスポーツデー：14学区で実施。
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった							
	②地域スポーツクラブの支援	地域スポーツクラブ設立支援事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画						
				関係団体等	各体育振興会、各スポーツ推進委員		目標	地域スポーツクラブの設立により、市民が身近にスポーツができる環境づくりにつなげる。					
				事業内容	市民が身近にスポーツができる環境を整えるため、学区単位の地域スポーツクラブ設立の支援を行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7	
							区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				成果	学校開放事業の運営支援など設立後の支援を通じて、組織の安定化に努めた。地域の意向により1学区については、学校開放事業の運営支援の事務を市に移行した。		計画	設立クラブ数　5クラブ	設立クラブ数　5クラブ	設立クラブ数　6クラブ	設立クラブ数　7クラブ	設立クラブ数　8クラブ	
				課題	まだクラブを設立していない地域に働きかけを行うとともに、既存のクラブについて、持続可能なクラブ運営ができるよう、運営の在り方について考える機会の創出を図る必要がある。		実績	設立クラブ数　5クラブ （対象学区：6学区）	設立クラブ数　5クラブ （対象学区：6学区）	設立クラブ数　5クラブ （対象学区：6学区）	設立クラブ数　4クラブ （対象学区：5学区）	設立クラブ数　3クラブ 【対象学区：4学区】 ・ALL老上スポーツクラブ （老上学区・老上西学区） ・山田スポーツクラブ （山田学区） ・志津スポーツクラブ （志津学区）
				評価	2	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった							
（５）総合型地域スポーツクラブ活動の活性化	①総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブ事業補助金	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画						
				関係団体等	くさつ健・交クラブ		目標	くさつ健・交クラブの活発な活動により、市民が多様なスポーツ活動を行える環境づくりにつなげる。					
				事業内容	くさつ健・交クラブの活動基盤を強化するための支援を行い、活発な活動を促進し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツメニューの提供やスポーツができる環境を整える。		年度	R3	R4	R5	R6	R7	
							区分	継続	継続	継続	継続	継続	
				成果	小中学生向けのバドミントン教室の再開やパンフレットの更新、関係団体や各教室やサークルとの連携強化をはかり持続可能な活動になるように努めることができた。ボランティアスタッフが中心となり地道にサークルや教室での活動を実施することができた。		計画	会員数：600人	会員数：630人	会員数：660人	会員数：690人	会員数：720人	
				課題	会員数の減少は高齢化や働くシニア世代の増加等の社会状況を反映したものと受け止めている。引き続き持続可能で安定的なクラブ運営に向け、会員数の確保や指導者・運営スタッフ等の充実にさらに取り組む必要がある。		実績	会員数：561人	会員数：556人	会員数：529人	会員数：531人	会員数：487名	
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった							

基本方針2　生涯スポーツ活動の推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価								
（６）障害者スポーツの推進	①障害者が参加するスポーツイベントの支援・充実	障害者スポーツの推進	障害福祉課	実施主体	心身障害児者連絡協議会		実施計画					
				関係団体等			目標	障害のある人の体力向上と社会参加を促進する。				
				事業内容	全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、障害者団体と連携して開催する「草津市いきいきふれあい大運動会」等の事業を推進し、障害者のスポーツ事業の充実を図るとともに、だれもが楽しめ、交流できる機会の創出を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	広報等周知を行った。その結果、より多くの方が参加する大会を開催することができた。		計画	各年度の参加人数600人以上	各年度の参加人数600人以上	各年度の参加人数600人以上	各年度の参加人数600人以上	各年度の参加人数600人以上
				課題	誰もが参加しやすくするために実施種目や運営方法等を検討する必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	参加人数　470人	参加人数　約530人
	②草津市立障害者福祉センター等との連携による障害者スポーツの推進	滋賀県障害者スポーツ大会	障害福祉課	実施主体	滋賀県障害者スポーツ協会		実施計画					
				関係団体等			目標	障害者スポーツの裾野の拡大と競技力の向上を図る。				
				事業内容	各種関係団体等と連携し、スポーツに取り組む選手の滋賀県障害者スポーツ大会への参加を支援する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	関係団体等と連携し、参加の支援を行った。その結果、障害者スポーツの競技力向上につながった。		計画	各年度、大会参加者50人以上	各年度、大会参加者50人以上	各年度、大会参加者50人以上	各年度、大会参加者50人以上	各年度、大会参加者50人以上
				課題	障害者スポーツの競技人口を増やすため、魅力などを広くPRする必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	参加者数　21人	参加者数　21人	参加者数　29人	参加者数41人	参加者数28人
	②施設のユニバーサルデザイン化等の推進	社会体育施設等整備改修事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等			目標	社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。				
				事業内容	スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能維持やユニバーサルデザイン化に向けた必要な改修等を行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	予定していたとおり改修を行い、次年度必要な工事についても予算要求し、計画的に改修を行うことができた。		計画	必要な整備・改修 ・野村運動公園管理棟外部階段改修工事	必要な整備・改修 ・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園グランド管理棟空調取替工事 ・ふれあい体育館管理室空調改修工事	必要な整備・改修 ・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ふれあい体育館床・外壁他改修工事	必要な整備・改修 ・武道館外壁等改修工事 ・ふれあい体育館トイレ実施設計	必要な整備・改修
				課題	施設の老朽化に伴い、修繕を必要とする施設や備品が多くなっているため、優先順位をつけて計画的に修繕を行い、施設の環境保全に努める必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	・野村運動公園管理棟外部階段等塗装補修 ・総合体育館大屋根固定ボルトキャップ部のシーリング修繕 ・総合体育館屋根・床板改修実施設計	・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ管理棟・ふれあい体育館管理室空調改修工事 ・野村ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞﾊﾞｯｸﾈｯﾄ改修工事 ・山寺健康広場藤棚撤去工事 ・常盤東健康広場フェンス改修工事　ほか	・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ・ふれあい体育館床・外壁他改修工事 ・野村運動公園掲揚台改修工事	・武道館外壁改修工事 ・ふれあい体育館トイレ実施設計	・公共施設照明LED化工事 ・ふれあい体育館トイレ改修 ・ふれあい運動場改修 ・三ツ池運動公園テニスコート改修 ・総合体育館非常用自家発電修繕

基本方針3　競技スポーツの推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（1）スポーツ協会活動の活性化	①スポーツ協会の支援	スポーツ協会運営・事業補助金	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等	スポーツ協会	目標	競技団体の統括組織として、スポーツ協会事務局の適正な運営体制を継続的に整えていく。			
				事業内容	競技団体の活発な活動を促進するため、競技団体を統括する草津市スポーツ協会の運営や活動の支援を行う。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	スポーツ協会の運営体制や活動の充実に向けた支援を通じ、競技スポーツの推進や各競技団体の活性化を図ることができた。	計画	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。
				課題	スポーツの推進や、国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会等の大規模大会に向けて、協会の体制強化を図る必要がある。	実績	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整えた。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整えた。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整えた。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整えた。	スポーツ協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整えた。
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					
	②競技力の向上	国民体育大会に向けた選手の発掘・育成	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ協会	実施計画				
				関係団体等	草津市スポーツ振興事業体	目標	若い世代の選手の発掘・育成を図ることで、各種競技スポーツの競技力向上につなげる。			
				事業内容	競技団体と連携し、国民体育大会に向けた選手の発掘・育成を図る。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	検討	検討	新規	継続	継続
				成果	全体として参加者数は減少しているが、倍以上に増加した教室もあった。種目を限定しない教室で様々なスポーツに触れる機会を増やし、種目別の教室では、専門性の高い指導を行う等、両方の側面からジュニア世代の運動能力の向上を目指していきたい。	計画	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数600人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数700人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数800人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数900人	競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数1000人
				課題	それぞれの教室でとったアンケートに基づき、好評な点は継続し、そうでなかった点は改善する対応と、熱中症対策やウイルス感染対策も今後引き続き気を緩めることなく実施することが必要である。	実績	・サッカー教室182人 ・野球教室コロナ中止 ・テニス教室コロナで中止 ・剣道教室コロナで中止 ・少年少女スポーツ教室（共催事業）407人	・サッカー教室155人 ・ソフトテニス教室37人 ・バレーボール教室13人 ・野球教室140人 ・剣道教室38人 ・テニス教室74人 ・少年少女スポーツ教室（共催事業）432人	・サッカー教室150人 ・ソフトテニス教室34人 ・バレーボール教室20人 ・柔道教室10人 ・野球教室120人 ・剣道教室12人 ・テニス教室21人 ・少年少女スポーツ教室（共催事業）453人	・サッカー教室155人 ・ソフトテニス教室36人 ・バレーボール教室20人 ・柔道教室6人 ・野球教室120人 ・剣道教室11人 ・テニス教室4人 ・わんぱくキッズスポーツ教室7人 ・護身術体験教室9人 合計368人	・サッカー教室103人 ・ソフトテニス教室43人 ・バレーボール教室21人 ・柔道教室16人 ・野球教室71人 ・剣道教室15人 ・テニス教室9人 ・わんぱくキッズスポーツ教室49人 ・護身術体験教室15人 合計342人
				評価	2	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					
（2）スポーツ少年団活動の活性化	①スポーツ少年団の支援	スポーツ少年団事業補助金 （再掲）	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等	スポーツ少年団（スポーツ協会）	目標	スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。			
				事業内容	こどもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。学校や地域のスポーツ関係団体等と連携し、スポーツ少年団活動の情報発信を積極的に行い、団員の確保に努める。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果		計画	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数27団体 団員数600人	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数30団体 団員700人	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数33団体 団員数800人	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。 団体数36団体 団員数900人	活動情報を発信し、団体の活性化を図る。また、指導者の資格取得や更新に対して補助を行う。 団体数39団体 団員数1，000　人
				課題		実績	団体数　22団体 団員数　507人 事業実施回数　4回（6／10回コロナ中止）	団体数　22団体 団員数　442人 事業実施回数　10／10回	団体数　22団体 団員数　469人 事業実施回数　10／10回	団体数　22団体 団員数　468人 事業実施回数　10／10回	
				評価		5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					

基本方針3　競技スポーツの推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価									
（３）各種大会出場者への支援	①激励金の交付	各種大会出場激励金	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画						
				関係団体等			目標	選手の大会参加や競技に取り組む意欲の向上につなげる。					
				事業内容	国際大会や全国大会等の各種大会出場者に激励金を交付し、選手の大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につなげる。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。
				成果	昨年度に引き続き、多くの選手・チームに激励金を交付し、意欲向上につなげることができた。							
				課題	引き続き、広報紙やHPを通じた周知を図り、選手の意欲向上につなげていく。							
				評価	4	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	交付件数　89件	交付件数　79件	交付件数106件	交付件数　121件	交付件数　202件
		障害者アスリート各種大会出場激励金	障害福祉課	実施主体	草津市		実施計画						
				関係団体等			目標	障害のある人の各種大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につなげる。					
				事業内容	全国障害者スポーツ大会等の出場者に激励金を交付する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。	各種大会出場者に激励金を交付する。
				成果	全国障害者スポーツ大会を始め各種大会に出場する選手へ激励金を交付することで、選手の支援および障害者スポーツの推進につながった。							
				課題	制度の周知を図り、活用を推進していく必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	交付件数　0件	交付件数　12件	交付件数　4件	交付件数　11件	交付件数　30件
	②スポーツ顕彰の実施	草津市民スポーツ大賞	スポーツ推進課・障害福祉課	実施主体	草津市		実施計画						
				関係団体等			目標	選手の競技に取り組む意欲の向上と、選手の活躍が市民の勇気と感動につなげる。					
				事業内容	オリンピックや世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰し、スポーツ功労をたたえる。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	「草津市民スポーツ大賞」の表彰	「草津市民スポーツ大賞」の表彰	「草津市民スポーツ大賞」の表彰	「草津市民スポーツ大賞」の表彰	「草津市民スポーツ大賞」の表彰
				成果	オリンピックや世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰した。							
				課題	引き続き、交付対象者の情報収集に努める必要があるとともにスポーツ顕彰の表彰を契機として、選手および市民双方に意義のある継続的な関わりを創出する必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	受賞者数　3人 ・最高栄誉賞　大橋悠依選手（水泳） ・栄誉賞　宇田秀生選手（パラトライアスロン） ・大賞　山本亜美選手（陸上）	受賞者数　6人 ・大賞 片岡翼選手（陸上） 田中光則選手（水泳） 伊藤さゆり選手（フライングディスク） 山本亜美選手（陸上） 西田有里選手（陸上） 板橋美波選手（飛込）	受賞者　8人 ・大賞 板橋 美波選手（高飛込） 伊藤 浩輝選手(高飛込） 山本 亜美選手（陸上） 新畑 雄飛選手(ﾎﾞｳﾘﾝｸﾞ） 西田 有里選手(陸上） 渡邉　宙選手(陸上） 片山　詠太選手(野球） ・功労賞 松田 宣浩選手(野球）	受賞者数　7人 ・大賞 江川　拓馬選手（ポッチャ） 片岡　翼選手（陸上） 川岸　駿選手（陸上） 山本　亜美選手（陸上） 小牧　加矢太選手（馬術） 長谷川　綾音選手（アーチェリー） 渡部　空夢選手（空手）	受賞者数　8人 ・大賞 川岸　駿選手（陸上） 津田　祐樹選手（水泳） 宇野　正則選手（卓球） 伊藤　さゆり選手（フライングディスク） 岸本　和明選手（ボッチャ） 清水　隆史選手（水泳） 上林　一生選手（ボッチャ） 山岡　洸貴選手（ボウリング）

基本方針3　競技スポーツの推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価								
（4）将来を担うアスリートの育成	①ジュニアアスリートの育成	各種ジュニアスポーツ教室	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会		目標	スポーツ教室を通じて、ジュニア選手の発掘や継続的なスポーツ活動の支援につなげる。				
				事業内容	スポーツ関係団体等と連携して、専門的な技術を持つ指導者を招いたスポーツ教室を開催し、ジュニアアスリートの育成を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	スポーツ関係団体等と連携した教室を継続して開催することができた。		計画	小学生対象　6教室 中学生対象　1教室	小学生対象　6教室 中学生対象　1教室	小学生対象　6教室 中学生対象　1教室	小学生対象　6教室 中学生対象　1教室	小学生対象　6教室 中学生対象　1教室
				課題	今後も各競技団体と連携し、ジュニアアスリートの育成に向けて取り組む必要がある。また、参加しやすい環境整備と将来に向けた育成方法の検討が必要である。		実績	小学生対象　5教室（3教室中止） ・バレーボール教室、バスケットボール教室　実施（施設閉鎖中のみ中止） ・ソフトテニス教室　春・秋コース　実施 ・ジュニア卓球教室　実施 ・小学生野球教室　コロナで中止 ・ガールズサッカー教室　前期・後期　実施 ・テニス教室、剣道教室　コロナで中止 中学生対象教室　1教室 ・バスケットボール教室　実施（施設閉鎖中のみ中止）	小学生対象　8教室 ・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ教室 ・ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ教室 ・ソフトテニス教室　春・秋コース ・ジュニア卓球教室　中止 ・小学生野球教室 ・サッカー教室 ・テニス教室 ・剣道教室 中学生対象　1教室 ・バスケットボール教室	小学生対象　9教室 ・ジュニア卓球教室 ・小学生野球教室 ・バスケットボール教室 ・サッカー教室 ・ソフトテニス教室 ・バレーボール教室 ・柔道教室 ・剣道教室 ・テニス教室 中学生対象　2教室 ・バスケットボール教室 ・野球教室	小学生対象　2教室 ・ジュニア卓球教室 ・小学生野球教室 中学生対象　1教室 ・バスケットボール教室	小学生対象　2教室 ・小学生バスケットボール ・ジュニア野球 中学生対象　1教室 ・U15バスケットボール
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	②専門性を生かしたアスリートの育成	大学・企業等と連携したアスリートの育成	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、立命館大学		目標	大学等の専門性を生かしたアスリートの育成や支援ができる機会を継続的に提供する。				
				事業内容	大学等と連携し、より専門性の高い指導を行うなど、それぞれの専門的観点からアスリートの育成や支援を行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	国スポ開催に伴う施設の利用制限等があり、こどもたちの体力向上・健康管理を推進する事業は開催できなかったが、「エフエム草津への出演」でつながりを継続した。		計画	スポーツ講座　3回	スポーツ講座　3回	スポーツ講座　3回	スポーツ講座　3回	スポーツ講座　3回
				課題	継続したイベントの開催だけでなく、こどもが運動や身体を動かす遊びの楽しさを感じ、自ら取り組んでいけるような仕組みについても検討する必要がある。		実績	トレーニングサポート月4回の予定（コロナで中止）	スポーツ教室（立命館大学との共催　中止）	スポーツ教室（びわこ成蹊スポーツ大学）	スポーツ教室（びわこ成蹊スポーツ大学）	FM出演（びわこ成蹊スポーツ大学）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
		一流アスリートとの交流	スポーツ推進課	実施主体	草津市、草津市スポーツ振興事業体		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会		目標	プロスポーツ選手等に間近に触れることで競技力の向上や競技人口の増加につなげる。				
				事業内容	プロスポーツの開催誘致や一流アスリートによる交流教室・指導教室等の開催を進める。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
				成果	YMITアリーナが東レアローズ滋賀のホームアリーナになったことにより、SVリーグの開催日数が増え、市民がプロスポーツを身近な場所で親しむ機会を提供することができた。		計画	プロスポーツ興業の誘致やアスリートによる交流教室・指導教室等を実施する。	プロスポーツ興業の誘致やアスリートによる交流教室・指導教室等を実施する。	プロスポーツ興業の誘致やアスリートによる交流教室・指導教室等を実施する。	プロスポーツ興業の誘致やアスリートによる交流教室・指導教室等を実施する。	プロスポーツ興業の誘致やアスリートによる交流教室・指導教室等を実施する。
				課題	市民がプロスポーツに関心を持ち、観戦する機会とできるよう、プロスポーツチームと連携を行う必要がある。		実績	・Bリーグ　2日 ・Vリーグ　2日	・Bリーグ　4日 ・Vリーグ　4日	・Bリーグ　1日 ・Vリーグ　2日	・Bリーグ　0日 ・SVリーグ　6日	・SVリーグ　8日
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針3　競技スポーツの推進

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価								
（5）国スポ・障スポ、各種競技大会の推進	①国スポ・障スポの推進	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会	スポーツ推進課	実施主体	草津市準備委員会		実施計画					
				関係団体等	滋賀県　他		目標	大会の開催を通じて、競技スポーツの推進を図るとともに、健幸都市くさつの実現に寄与する。				
				事業内容	本市開催競技の準備を進めるとともに、競技団体等と連携し、スポーツの魅力を発信し、競技スポーツの活性化を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
				成果	国スポ、障スポ、デモスポ、公開競技において、全国から74,331人の来場者を迎えることができ、また全国から約1万人の選手・監督が来られた。滋賀県選手団は、男女総合成績・女子総合成績ともに1位となり、天皇杯、皇后杯を獲得。草津選手団においても4つのメダルを獲得するなど輝かしい成績を残すことができた。		計画	○草津市準備委員会の設立 ○開催基本方針の策定	○草津市実行委員会への改組 ○開催推進総合計画の策定 ○各種基本計画の策定	○草津市実行委員会の開催 ○各種基本計画の策定 ○各種実施要項やマニュアル等の策定	○草津市実行委員会の開催 ○各種実施要項やマニュアル等の策定 ○リハーサル大会の実施	○草津市実行委員会の開催 ○各種実施要項やマニュアル等の策定 ○本大会の実施
				課題	草津市での国スポ・障スポの成功をうけ、このレガシーを総合計画に掲げている「ふるさと健幸創造都市 草津」につなげていく必要がある。		実績	○草津市準備委員会の設立 ○開催基本方針の策定	○草津市実行委員会への改組 ○開催推進総合計画の策定 ○各種基本計画の策定	○草津市実行委員会の開催 ・総会1回、常任委員会1回、専門委員会各1回 ○各種基本計画の策定 ○各種実施要項やマニュアル等の策定	○草津市実行委員会の開催 ・総会、常任委員会、各専門委員会 ○各種実施要項やマニュアル等の策定 ○リハーサル大会の実施	○草津市実行委員会の開催 ・総会2回、常任委員会2回、専門委員会各1回 ○正式5競技8種目、デモスポ3競技、公開競技1競技、障スポ2競技の実施
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	②各種競技大会の開催	草津市民スポーツ大会	スポーツ推進課	実施主体	草津市、スポーツ協会		実施計画					
				関係団体等			目標	大会の開催を通じて、選手個々の競技力の向上を図り、各競技全体の競技力向上につなげる。				
				事業内容	県民スポーツ大会の選手選考会も兼ねた「草津市民スポーツ大会」を種目別に開催し、選手の日ごろの練習の成果を発揮する場や選手間の交流する機会を提供する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	広報くさつへの掲載や競技団体それぞれが多数の参加者を募り、日頃の練習成果を発揮する場や選手間の交流を通して競技に取り組む意欲向上につなげた。		計画	参加者数2，000人	参加者数2，100人	参加者数2，200人	参加者数2，300人	参加者数2，400人
				課題	目標人数には達しなかったものの、昨年度よりも参加人数を増やすことができた。引き続き、参加人数の増加と選手が競技に取り組む意欲を向上できるよう、事業の広報活動や運営環境の充実に向けた取り組みが必要である。		実績	参加者数1，649人 ※18/26競技開催	参加者数1，598人 ※19/26競技開催	参加者数1，684人 ※21/27競技開催	参加者数1，695人 ※24/25競技開催	参加者数1,829人 ※20/28競技開催
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
		各種競技大会	スポーツ推進課	実施主体	各実行委員会		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、草津市		目標	大会の開催を通じて、各競技の競技人口拡大につなげる。				
				事業内容	「草津市武道祭」や「草津市駅伝競走大会」等、競技力の向上につながる各種競技大会を開催する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	武道祭については、目標人数には及ばないものの、昨年度より参加者が増加した。駅伝競走大会については前回開催時より参加チーム数が減少した。		計画	武道祭参加者数　200人 駅伝参加ﾁｰﾑ数　120ﾁｰﾑ	武道祭参加者数　200人 駅伝参加ﾁｰﾑ数　125ﾁｰﾑ	武道祭参加者数　200人 駅伝参加ﾁｰﾑ数　130ﾁｰﾑ	武道祭参加者数　200人 駅伝参加ﾁｰﾑ数　140ﾁｰﾑ	武道祭参加者数　200人 駅伝参加ﾁｰﾑ数　145ﾁｰﾑ
				課題	各種イベントについて、参加者数の確保に努める必要がある。周知方法等について検討をする必要がある。		実績	武道祭　コロナ禍により中止 駅伝　申込数 107チーム オープン参加者36人	武道祭　中止 駅伝　参加数 85ﾁｰﾑ ミニマラソン21人	武道祭　90名 駅伝　雨天中止 申込数 91チーム ミニマラソン23人	武道祭　103名 駅伝　参加数 76チーム ミニマラソン18人	武道祭　110名 駅伝参加数 70チーム ミニマラソン　10人
				評価	2	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針4　スポーツ環境の充実

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（1）指導者の育成・ボランティア機会の充実	①指導者の育成	スポーツ指導員等の資質向上	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ協会		実施計画					
				関係団体等	スポーツ少年団		目標	専門的な知識を有する指導者を育成することで、競技に取り組む選手の競技力向上や指導体制の充実につなげる。				
				事業内容	各種スポーツの指導者の資質と指導力の向上、新たな指導者の育成を図るための講習会等を行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	講習会実施回数2回 参加者数30人	講習会実施回数2回 参加者数35人	講習会実施回数2回 参加者数40人	講習会実施回数2回 参加者数45人	講習会実施回数2回 参加者数50人
				成果	スポーツ少年団指導者向けとして、「スポーツ団体ガバナンスコードセルフチェックシートの有効活用」また、「相手のやる気を引き出す言葉の力～やってみよう　ペップトーク～」においては、指導者のパワハラや暴言の防止につなげるための言葉の使い方を受講され、スポーツに携わり活躍している方々の資質向上につなげることができた。							
				課題	スポーツ指導者等の資質向上図るため、スポーツ指導等に取り組んでいる専門家を引き続き講師として招き、「栄養学」面に関する内容も取り入れ、スポーツに携わる多くの方々に伝えることができるよう進めることが必要である。		実績	（スポーツ協会） 指導者講習会　コロナ禍により中止	指導者講習会　2回 参加者数59人	指導者講習会　2回 参加者数　52名	指導者講習会2回 参加者数46人 スポーツ少年団資格取得にかかる補助制度の制定	指導者講習会2回 参加者数36人
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	②スポーツ協会との連携	指導者人材バンク	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ協会		実施計画					
				関係団体等			目標	新たな指導者の発掘・育成につなげ、競技スポーツの指導体制の充実につなげる。				
				事業内容	競技団体等と連携を図りながら競技別指導者の情報を集約し、ニーズに応じて、指導者を派遣する「指導者人材バンク制度」を活用する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	指導者派遣数　10件	指導者派遣数　10件	指導者派遣数　13件	指導者派遣数　13件	指導者派遣件数　15件
				成果	人材バンク制度を活用し、指導者の派遣を行うことで、中学校部活動の充実に向けた支援を行うことができた。							
				課題	中学校部活動の地域移行に対応できるか否かの検討も必要であると考える。		実績	指導者派遣数　12件	指導者派遣回数　1件	指導者派遣回数　12件	指導者派遣回数　12件	指導者派遣回数　12件
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	③スポーツボランティア機会の充実	スポーツボランティアの積極的活用	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ		目標	新たなスポーツボランティアの発掘・育成を図り、スポーツを支える人材確保につなげる。				
				事業内容	県が運営する「ゲームコンダクターSHIGA」等を通じて、市民のボランティア参加者の拡大を図るとともに、各種スポーツイベント等を通じて、ボランティア機会の充実を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	登録者数　30人 派遣者数　30人	登録者数　100人 派遣者数　100人	登録者数　150人 派遣者数　150人	登録者数　200人 派遣者数　200人	登録者数　300人 派遣者数　300人
				成果	登録者の活動により、各種スポーツ教室の運営を円滑に行うことができた。							
				課題	国スポ障スポ2025でのボランティア経験者をうまく取り込み、市内で開催する大型イベント等に誘導していき、継続して活動できる体制づくりが、今後の登録者の増加につながると思われることから、積極的な活用に向けて、周知を図る必要がある。		実績	登録者数　27名 実施回数　30回 小学生バレーボール教室補助	登録者数　27名 実施回数　30回 小学生バレーボール教室補助	登録者数　47名 実績回数　35回 小学生バレーボール教室 ジュニア卓球教室補助	登録者数　61名 実績回数　35回 小学生バレーボール教室 ジュニア卓球教室補助	登録者数　61名 実績回数　30回 小学生バレーボール教室ジュニア卓球教室補助 国スポボランティア 1,127人
				評価	4	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針4　スポーツ環境の充実

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（２）スポーツ推進委員活動の推進	①地域のスポーツ活動の推進	スポーツ推進委員指導力向上事業	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ推進委員協議会		実施計画					
				関係団体等			目標	スポーツ推進委員の指導力向上を図り、地域におけるスポーツのコーディネータとして各地域のスポーツ活動を推進する。				
				事業内容	滋賀県スポーツ推進委員協議会等が主催する各種研修会への参加や、スポーツ推進委員相互の連携・交流を図り、スポーツ推進委員活動を推進する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	計画通り各種研修への参加および自己研修会を開催し、指導力の向上および相互の連携・交流を行うことができた。		計画	研修会参加回数　5回 自己研修会回数　2回	研修会参加回数　5回 自己研修会回数　2回	研修会参加回数　5回 自己研修会回数　2回	研修会参加回数　5回 自己研修会回数　2回	研修会参加回数　5回 自己研修会回数　2回
				課題	各種研修会に参加する委員に偏りがあるため、広く参加いただけるよう促すとともに、自己研修会については日程や内容について工夫する必要がある。		実績	研修会参加回数　1回 ・近畿 自己研修会回数　1回 ・モルック研修会	研修会参加回数　4回 ・いきいき、県、近畿、全国 自己研修会回数　2回 ・ニュースポーツ研修会 ・新体力測定研修会 ・普通救命講習	研修参加回数　5回 ・いきいき、第一地区、県、近畿、全国 自己研修会回数　1回 ・テーピング講習	研修回数　5回 ・いきいき、県、全国、第一地区、近畿 自己研修会回数　2回 ・ニュースポーツ研修会　2回 （スーパーカロム、ファミバド、ボッチャ）	研修回数　5回 ・いきいき、県、全国、第一地区、近畿 自己研修会回数　2回 ・ニュースポーツ研修会　2回 （ファミリーバドミントン、スクエアボッチャ）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	②地域各種団体等との連携によるスポーツ活動の推進	スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ推進委員協議会		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、各体育振興会、各地域スポーツクラブ		目標	スポーツ推進委員の積極的な協力により、地域等におけるスポーツ活動の活性化につなげる。				
				事業内容	地域の各種団体等が行うスポーツ活動に積極的に協力し、より効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	各種スポーツイベント等において、スポーツ推進委員として協力するとともに、こどもから高齢者まで、幅広い年代を対象に出前講座を実施したことで、目標回数より多くの事業を実施市、地域におけるスポーツ活動の推進に寄与することができた。		計画	協力事業数　4 出前講座回数　3回	協力事業数　4 出前講座回数　3回	協力事業数　4 出前講座回数　3回	協力事業数　4 出前講座回数　3回	協力事業数　4 出前講座回数　3回
				課題	出前講座については、幅広い年代からの申込があることから、各年代に応じた指導を行うことができるよう、引き続き指導力の向上に取り組む必要がある。		実績	協力事業数　0 出前講座回数　3回 ・渋川やすらぎ学級　1回 ・なかよしひろば　2回	協力事業数　4 （駅伝、びわ湖ﾏﾗｿﾝ、ﾗﾝﾌｪｽ、ｽﾍﾟｼｬﾙｽﾎﾟｰﾂのひろば） 出前講座回数　4回 （プリムタウン歩こう会、渋川やすらぎ学級、山田学区体振、山田やすらぎ学級）	・協力事業数　3 （びわ湖ﾏﾗｿﾝ、ﾗﾝﾌｪｽ、ｽﾍﾟｼｬﾙｽﾎﾟｰﾂの広場） 出前講座回数　5回 （渋川やすらぎ、野村連合ﾆｭｰｽﾎﾟｰﾂ大会、矢倉のびっこ）	協力事業数　4 （駅伝、びわ湖ﾏﾗｿﾝ、ﾗﾝﾌｪｽ、ｽﾍﾟｼｬﾙｽﾎﾟｰﾂの広場） 出前講座回数　3回（渋川やすらぎ、野村連合ﾆｭｰｽﾎﾟｰﾂ大会、矢倉のびっこ）	協力事業数　6 （駅伝、びわ湖ﾏﾗｿﾝ、ﾗﾝﾌｪｽ、ｽﾍﾟｼｬﾙｽﾎﾟｰﾂの広場） 出前講座回数　4回（のびっこ南笠東、のびっこ矢倉、ヘルスメイトパワーアップ事業、渋川やすらぎ学級）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
（３）スポーツ情報の発信	①ホームページやＳＮＳを活用した情報発信の充実	ホームページやSNSを活用した情報発信	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体、スポーツ協会、くさつ健・交クラブ		実施計画					
				関係団体等	スポーツ推進委員協議会		目標	市民の多様なニーズに応じたスポーツ情報の発信に努め、市民のスポーツに対する関心の高まりにつなげる。				
				事業内容	利用者のニーズを踏まえて、各団体HP等情報発信手段の充実に努めることで、より多くの利用者に適した情報発信の拡充を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	SNSを活用し、広く市民に向けた各種イベント等の情報発信を行うことができた。		計画	・HPの充実 ・SNSの活用	・HPの充実 ・SNSの活用	・HPの充実 ・SNSの活用	・HPの充実 ・SNSの活用	・HPの充実 ・SNSの活用
				課題	各種イベント等について、積極的に情報発信を行うことができるよう、各団体と連携する必要がある。		実績	○HPの充実 ・新HPへの移行　1団体 ○SNSの活用 ・Twitter活用　1団体 ・Facebook活用　2団体 ・LINE活用　1団体	○HPの充実　1団体 ○SNSの活用 ・Twitter活用　1団体 ・Facebook活用　2団体 ・LINE活用　1団体	○SNSの活用 ・X（Twitter）活用1団体 ・Facebook活用　1団体	○SNSの活用 ・X（Twitter）活用1団体 ・Facebook活用　1団体	○SNSの活用 ・X（Twitter）活用1団体
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針4　スポーツ環境の充実

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（3）スポーツ情報の発信	②各種情報メディアを活用した情報発信の充実	各種情報メディアの活用	スポーツ推進課	実施主体	草津市、草津市スポーツ振興事業体	実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会	目標	市民がスポーツ情報に接しやすい環境を整え、市民の積極的なスポーツ活動への参画につなげる。				
				事業内容	市内のスポーツイベントや、各スポーツ関係団体等の活動状況等の情報を各種情報メディアやツールの活用を図ることで、スポーツ情報のより効率的・効果的な発信を行う。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
						計画	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行	各種情報メディアやツールの活用 スポーツ情報紙の発行
				成果	スポーツ関連情報を記者へ資料提供したほか、ラジオ番組を通じて国スポ障スポ2025の情報提供や啓発を行った。また、高校生以下の子供たちに積極的に出演していただき、市民がスポーツに関する情報に接しやすい環境づくりを行うことができた。						
				課題	今後とも各種メディアへの情報共有を行うとともに、ラジオ番組や情報誌等を通じてスポーツに関する情報発信を行い、市民がスポーツ情報に触れやすい環境を整える必要がある。	実績	○各種情報メディアやツールの活用 ・新聞掲載　1名、1団体 ○スポーツ情報紙発行（2回） ※コロナ禍により紙媒体ではなく、WEB版発行	○各種情報メディアやツールの活用 ・記者資料提供　13回 ○スポーツ情報紙発行 3回 ○ラジオ番組の放送 （FMくさつKUSATSU SPORTS GALLERY）	○各種情報メディアやツールの活用 ○記者提供資料12回 ○スポーツ情報紙発行 3回 ○ラジオ番組の放送 （FMくさつKUSATSU SPORTS GALLERY）	○各種情報メディアやツールの活用 ○記者提供資料15回 ○スポーツ情報紙発行2回 ○ラジオ番組の放送（FMくさつKUSATSU SPORTS GALLERY）	○各種情報メディアやツールの活用 ○記者提供資料28回 ○スポーツ情報紙発行3回 ○ラジオ番組の放送（FMくさつKUSATSU SPORTS GALLERY）
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
（4）社会体育施設等の整備・充実	①社会体育施設・公園等の整備・充実	オンライン施設予約システム	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	草津市スポーツ振興事業体	目標	システム導入を通して、利用者の利便性や施設の利用率の向上を図る。				
				事業内容	利用者の利便性向上や施設の利用率向上に向けて、オンライン施設予約システムの導入検討を行います。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	新規	継続	継続	継続	継続
						計画	システム構築の検討	システム構築の検討	システムの運用開始	オンライン申込数10万件	オンライン申込数15万件
				成果	関係課との協議行い、導入に向けた検討を進め、令和8年3月16日から利用者登録を開始した。						
				課題	令和8年5月から円滑に予約の受付を開始することができるよう、新旧の指定管理者と十分な調整が必要である。	実績	システム構築の検討	システム構築の検討	システム構築の検討	システム構築の検討・関係課協議	システム構築の検討および関係課と調整し、3月から利用者登録を開始した。
				評価	3 5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
		社会体育施設等整備改修事業（再掲）	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。				
				事業内容	スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能維持やユニバーサルデザイン化に向けた必要な改修等を行う。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果		計画	必要な整備・改修 ・野村運動公園管理棟外部階段改修工事	必要な整備・改修 ・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園グランド管理棟空調取替工事 ・ふれあい体育館管理室空調改修工事	必要な整備・改修 ・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ふれあい体育館床・外壁他改修工事	必要な整備・改修 ・武道館外壁等改修工事 ・ふれあい体育館トイレ実施設計	必要な整備・改修
				課題							
				評価	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	・野村運動公園管理棟外部階段等塗装補修 ・総合体育館大屋根固定ボルトキャップ部のシーリング修繕 ・総合体育館屋根・床板改修実施設計	・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ管理棟・ふれあい体育館管理室空調改修工事 ・野村ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞﾊﾞｯｸﾈｯﾄ改修工事 ・山寺健康広場藤棚撤去工事 ・常盤東健康広場フェンス改修工事　ほか	・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ・ふれあい体育館床・外壁他改修工事 ・野村運動公園掲揚台改修工事	・武道館外壁等改修工事 ・ふれあい体育館トイレ実施設計	

基本方針4　スポーツ環境の充実

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（4）社会体育施設等の整備・充実	①社会体育施設・公園等の整備・充実	草津市立プール整備事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画				
				関係団体等	滋賀県水泳連盟　他	目標	水泳競技等の更なる競技力の向上と、スポーツを通じた市民・県民の健康づくりの推進につなげる。				
				事業内容	令和7年開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として、また、大会後においても「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るための施設として、草津市立プールの整備を進める。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
						計画	（仮称）草津市立プールの整備	（仮称）草津市立プールの整備	（仮称）草津市立プールの整備	草津市立プールの整備・運営	草津市立プールの運営
				成果	草津市立プール整備・運営事業について、年間を通じて運営するとともに、国スポ・障スポ会場としても活用することができた。						
				課題	今後も『スポーツ環境の充実』『新たなにぎわいの創出』『スポーツ健康づくりの推進』の実現を図るための施設として運営していく必要がある。	実績	（仮称）草津市立プール整備・運営事業に係る事業契約を締結	（仮称）草津市立プール整備・運営事業について、施設の建築工事に着手	（仮称）草津市立プール整備・運営事業について、引き続き、施設の建築工事を実施	（仮称）草津市立プール整備・運営事業について、引き続き、施設の建築工事を実施し、8月に供用開始	（仮称）草津市立プール整備・運営事業について、年間を通じて運用したほか、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場としても活用した。
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					
		児童公園等再整備事業	公園緑地課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等	各町内会	目標	利用者ニーズに合った公園の再整備を行うことで、こどもの外遊びの機会を増やし、基礎体力の増進につなげる。				
				事業内容	児童公園・児童遊園の老朽化対策として、地元町内会の意見等を聴くことで、利用者ニーズの把握に努めながら、再整備（リニューアル）、改修を行う。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
						計画	公園再整備　3箇所	公園再整備　3箇所	公園再整備　3箇所	公園再整備　3箇所	公園再整備　3箇所
				成果	児童公園・児童遊園の老朽化対策として、公園の再整備（リニューアル）を行った。その結果、利用者が安全かつ快適に公園を利用できるようになった。						
				課題	市内には、300箇所以上の公園が存在するため、計画的に老朽化対策を実施していく必要がある。	実績	公園再整備　8箇所 ・青地大定木児童遊園 ・青地後町第三児童遊園 ・野村西公園 ・南笠第二児童遊園 ・南笠山口児童遊園 ・西矢倉辻海道児童遊園 ・下笠北松原児童遊園 ・はさま公園	公園再整備　6箇所 ・野村上十九児童遊園 ・野村東公園 ・草津筋違児童遊園 ・上笠堤児童遊園 ・山寺新田児童遊園 ・木川秒池児童遊園	公園整備　6個所 ・矢倉室木児童遊園 ・湖州平南児童公園 ・大路へラ田児童遊園 ・西渋川東公園 ・狼川児童遊園 ・南笠師子舞谷児童遊園	公園整備　3箇所 ・岡本町児童遊園 ・追分荒堀第四児童遊園 ・野路小林児童遊園	公園再整備8箇所 ・大路五反田児童遊園 ・若草緑道 ・西渋川上深田児童遊園 ・新浜三ツ池児童遊園 ・込田公園 ・せせら公園 ・西渋川東公園 ・矢橋公園
				評価	4	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					
	②施設のユニバーサルデザイン化等の推進	社会体育施設等整備改修事業（再掲）	スポーツ推進課	実施主体	草津市	実施計画					
				関係団体等		目標	社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。				
				事業内容	スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能維持やユニバーサルデザイン化に向けた必要な改修等を行う。	年度	R3	R4	R5	R6	R7
						区分	継続	継続	継続	継続	継続
						計画	必要な整備・改修 ・野村運動公園管理棟外部階段改修工事	必要な整備・改修 ・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園グランド管理棟空調取替工事 ・ふれあい体育館管理室空調改修工事	必要な整備・改修 ・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ふれあい体育館床・外壁他改修工事	必要な整備・改修 ・武道館外壁等改修工事 ・ふれあい体育館トイレ実施設計	必要な整備・改修
				成果							
				課題		実績	・野村運動公園管理棟外部階段等塗装補修 ・総合体育館大屋根固定ボルトキャップ部のシーリング修繕 ・総合体育館屋根・床板改修実施設計	・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ管理棟・ふれあい体育館管理室空調改修工事 ・野村ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞﾊﾞｯｸﾈｯﾄ改修工事 ・山寺健康広場藤棚撤去工事 ・常盤東健康広場フェンス改修工事　ほか	・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ・ふれあい体育館床・外壁他改修工事 ・野村運動公園掲揚台改修工事	・武道館外壁等改修工事 ・ふれあい体育館トイレ実施設計	
				評価		5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					

基本方針4　スポーツ環境の充実

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（4）社会体育施設等の整備・充実	③地域まちづくりセンター等の地域の身近な施設の活用	地域まちづくりセンター貸館事業	まちづくり協働課	実施主体	草津市、各学区まちづくり協議会		実施計画					
				関係団体等			目標	地域まちづくりセンターの貸館を通じて、市民が身近に運動・スポーツができる場所や機会の充実につなげる。				
				事業内容	地域まちづくりセンターにおいて各諸室の貸館を行い、健康体操やダンス等の運動・スポーツができる場所を提供する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	市内にある14の地域まちづくりセンターが諸室を貸し出し、健康体操やダンス等のスポーツ、軽運動の場として活用された。これにより、多数の方が気軽に運動・スポーツを楽しめる環境の充実に貢献した。		計画	貸館施設　14館	貸館施設　14館	貸館施設　14館	貸館施設　14館	貸館施設　14館
				課題	多様な主体による利用を通して、地域の交流や連帯感の醸成、地域振興に繋げていく。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	貸館施設　14館	貸館施設　14館	貸館施設　14館	貸館施設　14館	貸館施設　14館
（5）学校体育施設開放の充実	①学校体育施設開放の充実	学校体育施設開放事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等	くさつ健・交クラブ、各地域スポーツクラブ		目標	身近な場所でスポーツができる環境を整えることにより、市民の活発なスポーツ活動につなげる。				
				事業内容	小中学校の体育館およびグラウンドを学校教育に支障がない範囲で、スポーツ等の活動場所として開放し、広く市民に身近なふれあいの場や情報交換の場の提供を行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	今年度は大規模な工事が少なく、前年度と比べより多くの団体、利用者にスポーツ等の活動の場を提供することができた。		計画	利用団体数　計300団体 利用者数　計5，000人	利用団体数　計300団体 利用者数　計5，000人	利用団体数　計300団体 利用者数　計5，000人	利用団体数　計300団体 利用者数　計5，000人	利用団体数　計300団体 利用者数　計5，000人
				課題	利用希望が重複している学校や利用時間があることから、より多くの団体に利用いただけるよう開放枠や基準の検討を続ける必要がある。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	利用団体数　計304団体 ・グラウンド　56団体 ・体育館　248団体 利用者数　計4，869人 ・グラウンド　1，054人 ・体育館　3，815人	利用団体数　計309団体 ・グラウンド　55団体 ・体育館　254団体 利用者数　計4，839人 ・グラウンド　1，088人 ・体育館　3，751人	利用団体数　計316団体 ・グラウンド　58団体 ・体育館　256団体 ・武道館　2団体 利用者数　計4，905人 ・グラウンド　1，118人 ・体育館　3，766人 ・武道館　21人	利用団体数　計316団体 ・グラウンド　55団体 ・体育館　258団体 ・武道館　3団体 利用者数　計3，535人 ・グラウンド　1，178人 ・体育館　2，324人 ・武道館　33人	利用団体数　計333団体 ・グラウンド　59団体 ・体育館　272団体 ・武道館　2団体 利用者数　計4，921人 ・グラウンド　1，178人 ・体育館　3，723人 ・武道館　20人
（6）企業・大学等管理施設の有効活用	①企業・大学等管理施設の有効活用	企業等管理施設の一般開放	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画					
				関係団体等	企業等		目標	体育施設を保有する企業の協力を得て、より市民が身近にスポーツができる場所の充実につなげる。				
				事業内容	市内のスポーツができる場所を充実させるため、企業等と連携・協力し、企業等が保有する体育施設の市民への一般開放を検討する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	市民スポーツ大会やチャレンジスポーツデーにおける立命館大学の利用や、J-FREEパークを地元に開放いただくことができた。		計画	協力企業等　2企業	協力企業等　2企業	協力企業等　2企業	協力企業等　2企業	協力企業等　2企業
				課題	企業の施設を利用することは不特定多数の入退場を許可しなければならないというセキュリティー上の大きな課題がある中でどう利用可能な施設を増やしていくかが課題となっている。							
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった	実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用はなかったが年度末にJ-FREEパークが完成。	協力企業等　2企業	協力企業等　2企業	協力企業等　2企業	協力企業等　2企業

基本方針5　スポーツによるまちの活性化

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（1）各種関係団体と連携した取組の推進	①各種関係団体との連携強化	各種関係団体と連携したスポーツ活動	スポーツ推進課	実施主体	各体育振興会		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ		目標	地域の各種スポーツイベント等の充実により、地域住民の主体的なイベント参画につなげる。				
				事業内容	地域の各種スポーツイベント等の充実を図るため、各種関係団体との連携を強化し、効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	体育振興会連絡協議会や、スポーツ推進委員同士の交流を通じて情報交換を行い、各学区において運動会や各種イベントの活性化に向けた取組を行った。		計画	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。
				課題	継続的な活動のために各団体が一層連携を強化し、日常的に情報交換等を行う環境づくりに取り組む必要がある。		実績	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催した。	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催した。	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催した。	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催した。	各学区において、各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催した。
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	②大学等と連携したスポーツ活動の推進	大学等と連携したスポーツ活動	スポーツ推進課	実施主体	各体育振興会		実施計画					
				関係団体等	立命館大学、市内高等学校		目標	地域住民と学生・生徒の交流を通じて、地域のスポーツ活動の活性化につなげる。				
				事業内容	地域のスポーツ活動において大学や高等学校等と連携し、大学等の専門性を生かした幅広いスポーツ活動を推進する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	学校へ提案を行っていたが、調整がつかず実施できなかったが、次年度は、大学と連携を予定している。		計画	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。	立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。
				課題	引き続き事業を実施できるよう、日常的な情報交換等を行い、連携を強化する必要がある。		実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となった。	新型コロナウイルス感染症の影響や地域・学生等の状況の変化等により実施することができなかった。	立命館大学と連携したウォーキング講習会の開催　1学区	立命館大学、光泉高校と連携した事業の開催　1学区	学校へ提案を行っていたが、調整がつかず実施できなかった。
				評価	2	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
	③企業等と連携したスポーツ活動の推進	くさつMIO夢先生事業（再掲）	スポーツ推進課	実施主体	草津市							
				関係団体等	レイラック滋賀FC、小・中学校		目標	児童生徒がスポーツの楽しさや素晴らしさを身近に感じ、スポーツをしたり、好きになるきっかけづくりにつなげる。				
				事業内容	市内の小・中学校においてレイラック滋賀FCと連携した体育の授業を行い、児童とレイラック滋賀FCの選手等のトップアスリートが交流できる機会の充実を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果			計画	くさつMIO夢先生事業開催　4回	くさつMIO夢先生事業開催　4回	くさつMIO夢先生事業開催5回	くさつMIO夢先生事業開催5回	くさつMIO夢先生事業開催　6回
				課題			実績	くさつMIO夢先生事業開催　2回 ・常盤小学校　6年（2回）	くさつMIO夢先生事業開催　4回 ・笠縫小学校6年（2回） ・志津南小学校6年（2回）	くさつMIO夢先生事業開催3回 ・笠縫小学校5年（1回） ・志津南小学校5・6年（2回）	くさつMIO夢先生事業開催1回 ・光泉中学校（1回）	
				評価		5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針5　スポーツによるまちの活性化

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価							
（２）スポーツツーリズムの促進	①広範囲な集客が期待できる参加型イベントの活用	ワールドマスターズゲームズ2021関西	スポーツ推進課	実施主体	草津市実行委員会		実施計画					
				関係団体等	滋賀県、共催市実行委員会		目標	国内外から多くの方が参加する本大会を円滑に運営するとともに、参加者等の交流機会を創出する。				
				事業内容	概ね30歳以上のスポーツ愛好者なら誰でも参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会であるワールドマスターズゲームズについて、本市ではソフトボール競技の開催に向けてその準備および運営を行う。（※大会の再延期により令和9年度開催で正式合意）		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
				成果	競技団体や他の開催市と連携を図りながら、周知啓発の実施や、実施要項案の修正検討などの令和9年度の本大会に向けた調整会議の開催や運営準備を行った。		計画	○実行委員会の開催 ○競技運営の準備 ○交流事業の準備 ○周知啓発の実施	○周知啓発の実施	○周知啓発の実施	○周知啓発の実施	○実行委員会の開催 ○競技運営の準備 ○交流事業の準備 ○周知啓発の実施
				課題	本大会開催に向けて実行委員会等を再始動する必要がある。また、競技運営等に関して、見直しが必要になる部分があることから、競技団体や他の開催市と密に連携を図りながら内容の再検討を進める必要がある。		実績	○実行委員会の開催 ○競技運営の準備 ○交流事業の準備	○周知啓発の実施 ○調整会議の開催	○周知啓発の実施	○周知啓発の実施 ○実施要項案の再作成	○調整会議の開催 ○競技運営の準備 ○交流事業の準備 ○周知啓発の実施
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					
		自転車競技大会の開催協力	商工観光労政課	実施主体	京都車連		実施計画					
				関係団体等	京都府自転車競技連盟・滋賀県自転車競技連盟		目標	自転車競技大会の開催を通じて、市内外へ草津市の魅力等を発信する機会とする。				
				事業内容	烏丸半島で開催される「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の自転車競技大会の開催協力を行う。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
				成果	一回目のみ雨天での実施となったが、のべ参加者数 794名（平均参加者数132名）の参加者が訪れ,自転車の利用促進や烏丸半島の魅力発信に一定の効果があった。		計画	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。	「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。
				課題	イベント自体には毎回多くの参加者が集まり、自転車への興味や関心が高い方が多いものの、イベントコース（レース）での走行のみで完結させることなく、自転車をキーとして、ビワイチ・ビワイチプラス等の魅力発信を行い、市内観光や市内での消費行動につなげる等の連携について検討が必要。		実績	・草津ナイトレース 5月29日・6月5日 6月19日・7月31日 10月23日 ・関西シクロクロス 11月21日・23日	・草津ナイトレース 7月31日 8月14日 9月25日 ・関西シクロクロス 11月20日・27日	・草津ナイトレース 6月3日・6月24日 8月5日・8月26日 9月9日 ・関西シクロクロス 11月19日・26日	・草津ナイトレース 6月15日・6月22日 7月13日・8月17日 9月7日 ・関西シクロクロス 11月17日	・草津ナイトレース 6月14日・6月28日 7月12日・8月23日 9月13日・9月27日 ・関西シクロクロス 11月22日・23日・24日
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					
		くさつランフェスティバル	スポーツ推進課	実施主体	大会実行委員会		実施計画					
				関係団体等	商工会議所、観光物産協会		目標	大会を活性化していくことで参加者の増加を図ります。				
				事業内容	官民協働による誰もが参加しやすい健康増進イベントを開催し、スポーツに親しむ人の増加や健幸都市の推進を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
				成果	昨年度と比較して、約1．5倍多くの方に参加いただくことができた。		計画	参加者数　600人	参加者数　600人	参加者数　800人	参加者数　800人	参加者数　1，000人
				課題	昨年度実績と計画値をともに上回ることができ、引き続き参加者数の増加に向けてイベントの周知を行っていく必要がある。		実績	新型コロナウイルス感染拡大にかかる緊急事態宣言の発出を受けて、次年度に延期となった。	参加者数　864人	参加者数　945人	参加者数　881人	参加者数　1,298人
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった					

基本方針5　スポーツによるまちの活性化

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価						
（２）スポーツツーリズムの促進	②スポーツツーリズムを通じた交流促進	草津市版ヘルスツーリズム実証事業	商工観光労政課	実施主体	草津市観光物産協会		実施計画					
				関係団体等			目標	多様な地域資源の掘り起こしを行い、本市の魅力を発信していく。				
				事業内容	「健幸」を意識しながら着地型観光の観点から本市の多様な地域資源の掘り起こしを行い、旅行という非日常的な楽しみの中で本市独自のヘルスツーリズムとして健康増進等を図る。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	継続	継続	継続	継続	継続
							計画	市内事業者と連携した着地型観光の造成	新型コロナウイルスの感染状況を鑑み計画・実施予定	市内事業者と連携した着地型観光の企画	市内事業者と連携した着地型観光の企画	市内事業者と連携した着地型観光の企画
				成果	草津ハイキングや自転車を活用して離れた観光素材を繋げたツアーを企画、実施した。（草津ハイキング11本（延べ参加者数308名）、自転車を活用したツアー1本（延べ参加者数975名）							
				課題	単発イベントでの一時的な誘客にとどまるのではなく、長期的に、かつ、継続的に誘客できるような市内観光のPRを検討する必要がある。		実績	新型コロナウイルス感染症の影響により中止（参加型サイクリングイベント「びわこ・くさつグルメライド」のみ開催。参加者約200名）	・草津健幸ウォーク 草津めくるカレンダーづくり 3月10日 ・草津宿魅力発見本陣サントゥールコンサート 3月11日	草津ハイキング 7月29日、12月2日、2月3日 自転車を活用したツアー 7月30日、3月27日～4月6日（3月31日を除く。）	草津ハイキング 4月28日、11月13日、12月7日、1月12日、2月1日、3月29日 自転車を活用したツアー 10月12日～1月13日（謎解きサイクリング） 11月16日（野菜収穫サイクリング） 3月26日～3月30日 （桜×電動自転車×いちご狩り）	草津ハイキング 4月16日、4月27日、5月14日、6月18日、10月10日、10月22日、10月26日、11月12日、1月14日、2月7日、3月28日 自転車を活用したツアー 10月1日～1月12日（謎解きサイクリング）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
（３）スポーツ観戦機会の充実	①スポーツイベント等の推進	プロスポーツ等の誘致	スポーツ推進課	実施主体	合同会社草津市スポーツ振興事業体		実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、商工会議所		目標	中心市街地のにぎわい拠点として、プロスポーツの試合等を誘致し観覧機会の増加を図ります。				
				事業内容	大規模なスポーツ大会やプロスポーツの試合の誘致により、国内外の一流選手の高いレベルの試合を間近で観覧できる機会の増加等を図ります。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
							計画	プロスポーツ等開催日数3日	プロスポーツ等開催日数3日	プロスポーツ等開催日数3日	プロスポーツ等開催日数3日	プロスポーツ等開催日数3日
				成果	中心市街地におけるにぎわい拠点としての機能を担う施設として、プロスポーツの試合やその他大規模なスポーツイベントを開催することができた。							
				課題	プロスポーツの試合や、全国大会等のスポーツイベントを複数開催することで、予約状況が逼迫しており、競技練習等の一般利用の予約が取りづらいといった声もいただいている。幅広く施設を利用いただけるよう予約調整を行う必要がある。		実績	・Bリーグ　2日（1大会） ・Vリーグ　2日（1大会） ・その他各種スポーツ大会等　数日開催	・Bリーグ　4日（2大会） ・Vリーグ　2日（2大会） ・その他各種スポーツ大会等　数日開催	・Bリーグ　1日（1大会） ・Vリーグ　2日（1大会） ・その他各種スポーツ大会等　数日開催	・Bリーグ　2日（1大会） ・SVリーグ　6日（3大会） ・その他各種スポーツ大会等　数日開催	・SVリーグ　10日 ・その他各種スポーツ大会等　数日開催 ・Tリーグ　1日
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						
（４）スポーツを通じた交流促進	①様々なかたちでのイベント参画を通じた市民の交流促進	スポーツ交流促進事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市、スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会他		実施計画					
				関係団体等			目標	スポーツを通じて人と人がつながり、さらにそこから交流が生まれることで、まちの活力を生み出します。				
				事業内容	各種スポーツイベントを開催することで、市民のスポーツ交流機会の提供を行うことで、競技力の向上や地域の活性化につなげます。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	新規・継続	継続	新規・継続	新規・継続
							計画	・市民参画イベントの開催　7事業／年 ・アスリート等交流事業 3事業／年	・市民参画イベントの開催　8事業／年 ・アスリート等交流事業 3事業／年	・市民参画イベントの開催 8事業／年 ・アスリート等交流事業 3事業／年	・市民参画イベントの開催 8事業／年 ・アスリート等交流事業 3事業／年	・市民参画イベントの開催　8事業／年 ・アスリート等交流事業 3事業／年
				成果	市民がスポーツを通じて交流する機会を提供するとともに、各種プロスポーツ団体と連携し、アスリート等との交流事業を実施したことで、市民の交流促進や競技力の向上につなげることができた。							
				課題	市民参画イベントについては、今後も継続してイベントを実施し、多くの市民に参画いただけるよう、開催内容や周知方法を工夫する必要がある。		実績	○市民参画イベントの開催 2事業／年（市民体育大会、歩こう会） ○アスリート等交流事業 2事業／年（レッツエンジョイスポーツ、MiO夢先生）	○市民参画イベントの開催 6事業／年（市民体育大会、歩こう会等） ○アスリート等交流事業 4事業／年（レッツエンジョイスポーツ、MiO夢先生、レイクス市民無料開放デー）	・市民参画イベントの開催 7事業／年 ・アスリート等交流事業 5事業／年（レッツエンジョイスポーツ、MiO夢先生、レイクス市民無料招待デー）、健幸フェアレイクスフリースロー、東レ国スポ・障スポ開催記念バレーボール教室	・市民参画イベントの開催 8事業／年 ・アスリート等交流事業 6事業／年（レッツエンジョイスポーツ、MiO夢先生、レイクス市民無料招待デー）、健幸フェアレイクスバスケ教室、滋賀・立命館ダイビングクラブ飛込選手発掘プロジェクト	・市民参画イベントの開催 8事業／年 ・アスリート等交流事業 4事業／年（レッツエンジョイスポーツ、MiO夢先生、レイクス市民無料招待デー、東レアローズ市民無料招待デー）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった						

基本方針5	スポーツによるまちの活性化

【評価基準】
5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価									
（５）国スポ・障スポを契機とするスポーツレガシーの創出	①国スポ・障スポを市全体で支える機運の醸成	大会の機運醸成に向けた周知・啓発	スポーツ推進課	実施主体	草津市準備委員会		実施計画						
				関係団体等	滋賀県　他		目標	大会に対する市民の関心や参加意欲を高める。					
				事業内容	効果的な広報活動を積極的に展開するとともに、大会開催時には、本市を訪れる方々をはじめ、全国に本市が有する歴史や文化、社会活動等の地域資源の魅力を発信する。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
				成果	開催100日前イベントをはじめとする各種イベントへの出展、SNSや広報紙等による情報発信、駅前装飾及び学校観戦の実施等、様々な手段を通じて、大会開催を広くPRすることができた。		計画	○大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ○印刷物やメディアによる広報 ○イベントによる広報	○大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ○印刷物やメディアによる広報 ○イベントによる広報	○大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ○印刷物やメディアによる広報 ○イベントによる広報	○大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ○印刷物やメディアによる広報 ○イベントによる広報	○大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ○印刷物やメディアによる広報 ○イベントによる広報
				課題	今後予定されている令和8年度全国高等学校総合体育大会やワールドマスターズゲームズ2027関西などの機会を捉えた効率的・効果的に啓発活動を進めるほか、本市の地域資源の魅力を発信するための広報手法の一つとして、今回の国スポにおける取り組みを活用していく必要がある。		実績	○大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ・オリジナル缶バッジの配付 ○印刷物やメディアによる広報 ・啓発紙の配付 ○イベントによる広報 ・イベントでの出展（健幸フェア・わんにゃんマルシェ）	○大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ○印刷物やメディアによる広報 ○イベントによる広報 ○庁内展示による広報 ○通知文やごみ袋引換券等にロゴマークを活用したことによる広報	・大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ・印刷物やメディアによる広報 ・イベントによる広報 ・クリアファイルや市封筒等にロゴマークを活用したことによる広報 ・人道橋やエレベーター装飾などによる広報	・大会愛称やマスコットキャラクターによる広報 ・印刷物やメディアによる広報 ・本大会開催1年前イベントの実施による広報 ・イベントやリハーサル大会へのブース出展による広報 ・クリアファイルや市封筒等を活用したことによる広報 ・駅前装飾や啓発物品などによる広報	・開催記念イベント等、各種イベントでのPR活動 ・SNS（Instagram、X）の開設、積極的な投稿による情報発信（773件） ・広報誌、駅前装飾等、各種媒体でのPR活動 ・本大会での学校観戦の実施（3,625名）
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった							
	②国スポ・障スポを通じてのスポーツ文化の醸成と継承	大会レガシーの創出	スポーツ推進課	実施主体	草津市準備委員会		実施計画						
				関係団体等	滋賀県　他		目標	市民総参加による大会運営を図るとともに、その経験を大会終了後につなげるように取り組む。					
				事業内容	大会運営のサポートや大会の観覧応援、関連イベントへの参加など市民一人ひとりがそれぞれの立場で大会に参加できるようにするとともに、その取組が大会終了後も協働のまちづくりにつながるようにする。		年度	R3	R4	R5	R6	R7
							区分	新規	継続	継続	継続	継続
				成果	各種専門委員会を開催し、本大会の円滑な運営につなげることができた。また、ボランティア研修会や決起大会を開催することで、本大会で1,127人ものボランティアに参加いただくことができた。		計画	市民一人ひとりが活躍できる取組を検討する。	市民一人ひとりが活躍できる取組を検討する。	市民一人ひとりが活躍できる取組を進める。	市民一人ひとりが活躍できる取組を進める。	市民一人ひとりが活躍できる取組を進める。
				課題	ボランティアをはじめとする大会開催に携わった方々に大会後も協働のまちづくりに携わっていただくために、ボランティアの組織化等の取り組みを進める必要がある。		実績	中心的な検討組織となる総務企画専門委員会の設置準備を進めた。	中心的な検討組織となる総務企画専門委員会を設置し、第1回専門会議を開催した。	○各種専門会議を開催した ・総務企画専門委員会　1回 ・競技式典専門委員会　1回 ・宿泊衛生専門委員会　1回 ・輸送交通専門委員会　1回	○各種専門会議を開催した ・総務企画専門委員会　2回 ・競技式典専門委員会　2回 ・宿泊衛生専門委員会　3回 ・輸送交通専門委員会　1回	○各種専門会議、研修会等を開催 ・総務企画専門委員会　1回 ・競技式典専門委員会　1回 ・宿泊衛生専門委員会　1回 ・輸送交通専門委員会　1回 ・ボランティア研修会　3回 ・ボランティア決起集会　1回
				評価	3	5：計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4：計画以上にできた 3：計画どおりできた 2：計画どおりできなかった 1：取り組まなかった							